

第35回 公益社団法人日本看護科学学会総会 議事録

日 時 平成27年12月5日(土) 16:30~18:15
場 所 広島国際会議場 フェニックスホール (第1会場)
広島市中区中島町 1番5号 TEL: 082-242-7777

出席者数 3,353名(会場153名、委任状3,200名)
議 長 小山 真理子

I. 開会

現正会員数8,348名中、開会時会場出席正会員数72名、有効委任状提出者3,200名、合計3,272名であり、日本看護科学学会定款第45条に定められた要件を満たしていることが確認され、公益社団法人日本看護科学学会第35回学会総会が開会された。

司会は井上智子副理事長、書記は藤本 薫(東京医科大学)、吉川めぐむ(学会事務所職員)で行なわれた。

II. 理事長挨拶

萱間真美理事長より以下の挨拶があった。

第35回日本看護科学学会学術集会が成功裏に開かれていることに感謝する。この学術集会では小山学術集会会長のもと様々な企画がされている。参加されているみなさまには、平和を祈る広島の地に想いを馳せながら、学会をお楽しみいただきたい。

本学会総会はこの1年間の報告をした後、事業計画を説明する。これに関してもご意見をいただければと思う。

III. 議長指名および議事録署名人の承認

定款第44条に従い、議長は小山真理子第35回学術集会会長が指名された。また議事録署名人として、須釜淳子先生(金沢大学)、真壁玲子先生(福島県立医科大学)の2名が推薦され、承認された。

IV. 報告事項

麻原理事より、資料に基づき報告された。

1. 総務報告(資料pp.3-4)

資料に基づき会員推移が報告された。

平成27年4月1日の正会員数は7,528名、平成27年度の入会者は808名、死亡喪失者2名、平成27年10月31日現在の正会員数は8,332名、名誉会員15名、賛助会員5件、会員総数8,352名であり、正会員数は年々増加傾向である。

2. 理事会および社員総会報告(資料pp.6-13)

麻原理事より、平成27年度の理事会と、平成27年6月定例社員総会・12月社員総会について、資料に基づき報告された。理事会では通年、各委員会からの報告、提案事項の審議、併せて入会希望者の承認を行っている。

続いて社員総会について報告された。(資料pp.12 - 13)

上記の報告に対して質疑はなかった。

3. 委員会活動報告(資料pp.14-23)

麻原理事より、平成27年度委員会名簿および分掌事項の説明があった。また、平成27年度各委

員会の活動についてPowerPointで概要を示しているの、資料と併せてご覧いただきたい旨の案内があった。

1) 総務委員会

会員マイページ利用による更新は1,690件、メールアドレス登録状況は8,179件である。

2) 和文誌編集委員会

投稿論文編集・査読システム業者を国際文献社から中西印刷に変更する。オンライン投稿システムの本格的な始動は平成28年1月1日を予定している。平成26年度の投稿論文数は70論文であった。表彰論文選考に参画、査読システムガイドラインを改訂中である。

3) 英文誌編集委員会

Japan Journal of Nursing Science (JJNS) Vol.11, No.4, Vol.12, No.1-3 をオンラインで発刊した。2014年11月2日にJJNSセミナーを開催した。若手研究者支援事業として、1編の助成対象論文を決定した。JJNS プロモーション活動の一環として、2014年度の優秀賞および奨励賞を受賞した論文各1編をフリーアクセスとした。また、希望によるオープンアクセス化が可能となるよう投稿規程を改定した。

4) 研究・学術情報委員会

第6回JANSセミナー「責任ある研究行為ー知っておきたい利益相反&オーサーシップー」を開催した。JANS若手アカデミーを「若手研究推進委員会」として常置委員会化した。看護学における研究優先課題設定を目的とした情報収集・整理、および調査計画に着手した。第7回JANSセミナーを企画した。

5) 国際活動推進委員会（世界看護科学学会を含む）

異文化データベースの見直しを行った。「看護系大学院教育のグローバル化」に関する状況調査を行う。世界看護科学学会（WANS）では、第4回WANS学術集会にてWANS事務局として開催の支援を行うとともに、WANS理事会を開催した。

6) 看護学学術用語検討委員会

「看護学を構成する重要な用語集」は、一応の完成形をみたのではないかと確認した。活動の方向性としては用語の体系化・系統化を視野に入れた検討をはかる。

7) 看護倫理検討委員会

「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」の改正、「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」および「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の制定に伴い、研究者が研究活動においてどのように実行しているのかを調査する。

8) 社会貢献委員会

JANS35における企画として、市民フォーラム「けん玉でいきいき健康づくり」、中・高校生を対象としたナーシング・サイエンス・カフェは「時代を拓く看護の魅力ー見て聞いて触れて感じて考える、看護の役割ー」を企画した。

9) 表彰論文選考委員会

優秀賞・奨励賞を審査・選考し、理事会に報告、承認を得た。

10) 広報委員会

JANS35 企画委員会と連携し広報活動を行った。また社会貢献委員会と連携し、市民フォーラムおよびナーシング・サイエンス・カフェのポスターを作成した。

11) 若手研究推進委員会

JANS35・36 における交流集会の企画を行ってきた。JANS 若手の会 HP の作成および若手の研修ニーズ調査について検討・準備を行った。また JANS 若手メーリングリストを活用し、情報の発信を行った。

12) 災害看護支援事業専門委員会

平成 27 年度災害看護支援金による助成事業の募集を行い、11 件の応募の中から 2 件を採択した。助成金の総額は 700,000 円であった。

13) 利益相反委員会

平成 27 年度は猶予期間であるため、初めに役員、学術集会会長、各委員会委員に対し、利益相反申告書による申告を求めた。また日本看護科学会誌、JJNS の投稿時の利益相反申告の時期と方法を検討した。平成 28 年 1 月 1 日より、投稿時に利益相反を申告する。「日本看護科学学会における学術活動の利益相反に関する指針」の細則を検討した。JANS36 に向け、学術集会等での発表時の利益相反申告の方法の説明内容について検討した。

14) 研究倫理審査委員会

1 件の申請があり、簡易審査を行った。

15) 他機関との連携活動

① 日本看護系学会協議会

平成 27 年度総会(6 月 30 日)に出席した。役員の改選結果と新役員の紹介がなされた。医療事故報告制度に関する学会の役割についての説明と、各学会に今後の本制度の対応について依頼があった。

② 看護系学会等社会保険連合

平成 27 年度社員総会(4 月 23 日)に出席した。平成 27 年度の新規事業として、診療報酬や介護報酬について意見交換を行い、仕組みや課題を理解する趣旨で、情報交換会を年 4 回開催することとなった。また、「平成 28 年度技術評価提案書」「平成 28 年度診療報酬改訂に関する要望書」を厚生労働省保険局へ提出した。

日本褥瘡学会から新規加盟申請があり、理事会において承認された。

③ 日本学術会議

日本学術会議ニュース・メールを役員に提供した。

④ その他の機関

対応すべき事案はなかった。

16) 選挙管理委員会

代議員選挙が Web 投票にて行われた。平成 27 年 1 月 29 日開票、13 地区の投票率は 18.9%~29.7% であった。代議員選出数は 264 名であった。また、役員候補者選挙の Web 投票は、平成 27 年 3 月 30 日開票、投票率(理事候補者選挙 71.2%、監事候補者選挙 67.0%)であった。

上記の報告に対して質疑はなかった。

4. 平成26年度決算報告（資料pp.24-38）

村嶋理事より、資料に基づき平成26年度決算が報告された。

当年度の収支計算書（pp. 34-36）の事業活動収入の部では、会費収入が80,660,000円であり予算より860,000円の増加である。そのほか学会誌収入、寄付金収入、雑収入、学術集会収入を合わせ事業活動収入合計は136,173,634円と予算より7,754,834円の増加であった。

これに対し、事業活動支出では、英文誌編集・印刷費支出が16,312,822円と予算より2,432,822円と増えており、これは海外からの投稿論文が増えたことにより編集事務費が増加したためである。災害支援準備資金助成金支出は、予算は立てていなかったが平成25年度の災害支援準備資金積立金より3,500,000円を計上した。学術集会支出は予算より2,665,244円増しの48,407,544円であった。事業活動支出合計は131,657,154円であり、予算より5,079,754円の増加であった。投資活動収支差額は4,796,315円、財務活動収支、予備費支出は0円である。以上より、当期収支差額は9,312,795円、前期繰越収支差額77,072,757円、次期繰越収支差額は86,385,552円である。

続いて正味財産増減計算書内訳（資料pp. 28-29）について説明された。会員からの収入は理事会で定めた配分率により公益目的事業会計と収益事業会計に5：5に配分されている。公益目的事業の赤字分を補填するために収益より5,417,185円を公益目的事業へ振替えており、結果、収益事業にかかる課税は住民税の7万円のみとなった。平成26年度の正味財産期末残高は88,670,656円となっている。

会計の方針としては、資料p. 30に「重要な会計方針」5項目があげられており、これに添って行われている。

災害看護支援事業収支報告については、資料p. 37に報告書を掲載している。災害看護支援寄付金収入と預金利息を合わせた442,187円が収入であり、これより8件の事業に助成金（合計4,710,000円）を出している（資料p. 38）。

上記の報告に対して質疑はなかった。

5. 平成28年度事業計画の報告（資料pp.39-42）

萱間理事長より、資料pp.39-42に基づき、平成28年度事業計画が報告された。

- 1) 第36回日本看護科学学会学術集会は、平成28年12月10日（土）・11日（日）に東京国際フォーラムにて岡谷恵子学術集会会長のもと行われる。
- 2) 第37回日本看護科学学会学術集会は、平成29年に吉沢豊予子学術集会会長のもと仙台で行われる。
- 3) 第38回日本看護科学学会学術集会は、平成30年に佐伯由香学術集会会長のもと愛媛で行われる。
- 4) 和文誌の発行
和文誌編集委員会では、第36巻を発行予定である。新しい査読ガイドライン、新しい査読・投稿システムの効果的運用と質向上をはかる。また和文誌編集委員、査読者の活動を支援する教育プログラムを開催していく予定である。今回の学術集会で交流集会を企画している。
- 5) 英文誌の発行
英文誌編集委員会では、JJNS Vol.13を発行予定である。JJNSセミナーの開催およびJJNSプロモーション活動を実施し、若手研究者の支援活動も引き続き行う予定である。
- 6) 看護学術振興対策
 - (1)看護学学術用語の検討

看護学学術用語検討委員会では、看護学学術用語・看護行為用語に関するWeb調査を予定している。

(2)国際活動の推進

国際活動推進委員会では、引き続きWANS事務局業務を行う(HPの維持管理含む)。看護学のグローバルスタンダードの検討、JANSホームページ内の異文化看護データベースの更新をする。

(3)看護倫理の検討と啓発

看護倫理検討委員会では、研究倫理指針等の改正に伴う研究活動実態調査の実施および報告をする。また看護学が関連する倫理的社会事象に対する情報収集を行う予定である。利益相反委員会は、役員、委員会委員、和文誌・英文誌投稿者、次回の学術集会における発表者からCOIの申告を実施し、評価を行う予定である。

研究倫理審査委員会では、倫理審査申請があり次第審査を行う。

(4)研究成果の蓄積と活用

研究・学術情報委員会では、看護における優先研究課題を目的とした情報収集体制の整備を行う予定である。また会員、一般社会、学術団体、行政に向けた情報発信体制の整備も行う。次回のJANSセミナーは、3月26日(土)、聖路加国際大学にて開催予定である。テーマは「エビデンスを統合するーシステムティックレビューとメタ統合ー」である。

7) 学術研究論文の表彰

表彰論文選考委員会が表彰論文の選考を行い公表する。

8) 学会組織の強化・発展

(1)若手研究推進委員会の活動の推進

若手研究推進委員会は、学術集会の交流集会を定期的に企画運営する。「若手の会」専用のHPから、活動を公表、意見交換やニーズの把握などを行っていく。

(2)事務所体制の整備

総務委員会は、事務所職員体制を確立するために、職員の評価・査定制度を導入し、職員体制を整備していく予定である。

9) 社会貢献活動

社会貢献委員会は、第36回学術集会に向けた社会貢献事業の検討・準備、市民フォーラム、ナーシング・サイエンス・カフェの開催を行う。学術集会に限らず、JANSとしての社会貢献のあり方を検討していく。

10) 広報活動

広報委員会では、学術集会の記録(カメラ撮影など)など、広報活動を引き続き行う。WANSに関連した広報を行う。

11) 他機関との連携活動

日本看護系学会協議会、看護系学会等社会保険連合、日本学術会議などと連携活動を進めていく予定である。

12) 理事候補選挙

選挙管理委員会は、Web投票システムを利用した理事候補者選挙を行う準備を進める。

上記の報告に対して質疑はなかった。

6. 平成28年度予算の報告(資料pp.43-47)

村嶋理事より、平成28年度予算が報告された。

事業活動収支の部の会費収入88,800,000円は、会員数の伸びを見越した額を入れている。学会誌収入、雑収入(セミナー料等含む)、学術集会収入、事業活動収入合計は147,564,000円の計上である。

事業費支出の学会誌発行支出は、19,212,000円の見込みである。和文誌は、今年度に比べて330万円に抑えている。英文誌は前年度より210万円ほど増加していることが数年続いていたが、編集委託業者との交渉により、英文誌編集費15,912,000円で予算を立てている。災害看護支援助成金は、平成27年度以降助成事業を行わないため0円である。学術集会費支出は、会場費が37,623,000円と高いこともあり、57,349,000円で計上しているが、現時点ではプログラム印刷および送付をしない予定であることから、印刷製本費および通信運搬費は前年度予算より抑えた金額となっている。

管理費支出は54,789,000円である。その内、給料手当支出については、正職員5名、パート5名の給与に関して国家公務員給与を基本として設定していく。また事務所が永続して学会活動を支えていけるように職員の待遇を見直し、賞与に関して現行1ヵ月を2ヵ月に改定することから、給料手当支出21,330,000円で計上している。事業活動支出合計としては144,532,000円を計上している。投資活動収支の部では、収支差額は-760,000円である。財務活動収支の部では、財務活動収支差額0円、予備費支出3,000,000円である。以上、当期収支差額は728,000円の赤字となっている。

平成28年度収支予算書(資料pp.46-47)は、内閣府へ提出する予算書である。公益目的事業の当期経常増減額は赤字になっており、収益事業会計より8,397,134円を振り替えている。当期一般正味財産増減額は4,358,412円を見込んでいます。

上記の報告に対して質疑はなかった。

7. 名誉会員について(資料pp.48-50)

萱間理事長より、金川克子先生、川島みどり先生、前原澄子先生の3名の先生が平成27年6月定例社員総会にて新たに名誉会員として承認されたことが報告された。

8. 第38回日本看護科学学会学術集会長の選任報告(資料p.51)

資料に基づき、平成30年度(2018年)開催の第38回学術集会(JANS38)会長として、佐伯由香氏(愛媛大学)が選任された。

9. その他

会員からの報告や意見は特になかった。

以上をもって学会総会の報告が終了した。

V. 表彰

表彰論文選考委員長 真田理事より、表彰者4名が紹介され登壇した。

萱間理事長より、表彰状と副賞が授与された。対象論文は以下となる。

[優秀賞]

- ・ Kumiko Ohashi. Effects of early morning care, named “Comfort upon Rising” care, on postoperative orthopedic ambulation and morning activity. Japan Journal of Nursing Science, 11(4), 268-280.
- ・ 高橋有里、菊池和子、三浦奈都子、石田陽子. BMIからアセスメントする筋肉内注射時の適切な注

射針刺入深度の検討. 日本看護科学会誌, Vol.34, pp.36-45.

[奨励賞]

- ・山内朋子. 他者とうまく距離をとることができない発達障害の学童に対する看護師のかかわり. 日本看護科学会誌, Vol.34, pp.170-179.
- ・藤田景子. ドメスティック・バイオレンス被害女性の周産期および育児期を通じたDV被害に対する認識の回復過程. 日本看護科学会誌, Vol.34, pp.198-207.

各受賞者から受賞の挨拶があった。

VI. 第36回日本看護科学学会学術集会会長 挨拶

第36回学術集会会長岡谷恵子氏より以下の挨拶と説明があった。

2016年12月10日(土)、11日(日)の両日に、東京国際フォーラムにて第36回日本看護科学学会学術集会を開催する。メインテーマは「国民の幸せをもたらす制度設計と看護研究」である。政策研究という切り口で、健康に関連する社会的課題の解決に看護学がどう取り組めるかということを探求していきたいと思いテーマに設定した。本学術集会では、「社会と科学をつなぐ学術の意義」を改めて考える場としたい。5年ぶりの東京開催である、ぜひご参加いただきたい。

VII. 閉 会

司会の井上副理事長より、学会総会の開会時は72名であったが、現在の出席会員数が81名増え、最終的な会場出席正会員は153名である。委任状を含め、学会総会が成立していることが改めて報告され、閉会となった。

以上

この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人により以上の議事を認め記名押印する。

平成28年 2月 2日

議 長 小山 真理子 (印)

議事録署名人 須釜 淳子 (印)

議事録署名人 真壁 玲子 (印)

第35回 公益社団法人 日本看護科学学会総会

日 時 平成27年12月5日(土) 16:30~18:15

場 所 広島国際会議場 フェニックスホール (第1会場)
広島市中区中島町 1番5号 TEL: 082-242-7777

【議事次第】

- I. 開会
- II. 理事長挨拶
- III. 議長指名および議事録署名人の承認
- IV. 報告事項
 1. 総務報告
 2. 理事会報告および社員総会報告
 3. 委員会活動報告
 - 1) 総務委員会
 - 2) 和文誌編集委員会
 - 3) 英文誌編集委員会
 - 4) 研究・学術情報委員会
 - 5) 国際活動推進委員会 (世界看護科学学会を含む)
 - 6) 看護学学術用語検討委員会
 - 7) 看護倫理検討委員会
 - 8) 社会貢献委員会
 - 9) 表彰論文選考委員会
 - 10) 広報委員会
 - 11) 若手研究推進委員会
 - 12) 災害看護支援事業専門委員会
 - 13) 利益相反委員会
 - 14) 研究倫理審査委員会
 - 15) 他機関との連携活動
 - ① 日本看護系学会協議会
 - ② 看護系学会等社会保険連合
 - ③ 日本学術会議
 - ④ その他の機関
 - 16) 選挙管理委員会
 4. 平成26年度決算報告
 5. 平成28年度事業計画の報告
 6. 平成28年度予算の報告
 7. 名誉会員について
 8. 第38回日本看護科学学会学術集会会長の選任報告
 9. その他
- V. 表彰
- VI. 第36回日本看護科学学会学術集会会長 挨拶
- VII. 閉 会

公益社団法人日本看護科学学会 役員・社員

(平成 27 年 10 月 31 日現在)

理事長 萱間 真美

副理事長 井上 智子

第 35 回学術集会会長

小山真理子

第 36 回学術集会会長

岡谷 恵子

第 37 回学術集会会長

吉沢豊予子

理事：麻原きよみ、勝原裕美子、鎌倉やよい、グレッグ美鈴、酒井 郁子、
真田 弘美、高田 早苗、中山 洋子、西垣 昌和、西村 ユミ、
村嶋 幸代、山本 則子、吉沢豊予子

監事：阿曾 洋子、南 裕子

名誉会員：飯田澄美子、稲岡 文昭、氏家 幸子、薄井 坦子、金川 克子、兼松百合子、
川嶋みどり、小玉香津子、中島紀恵子、林 滋子、樋口 康子、日野原重明、
前原 澄子、松野かほる、山崎 智子

賛助会員：(株)医学書院、(株)南江堂、(株)日本看護協会出版会、ヌーヴェルヒロカワ、
(株)へるす出版

(以上、五十音順)

社員

【北海道】

石垣 靖子
 稲葉 佳江
 大日向 輝美
 河口 てる子
 河原田まり子
 荃津 智子
 中村 恵子
 松浦 和代
 三国 久美
 矢野 理香
 山田 律子
 良村 貞子

【東北】

朝倉 京子
 一戸 とも子
 遠藤 芳子
 小野 幸子
 工藤 せい子
 佐藤 富美子
 塩飽 仁
 武田 淳子
 武田 利明
 原 玲子
 布施 淳子
 古瀬 みどり
 眞壁 玲子
 宮下 光令
 吉沢 豊予子
 吉田 俊子

【関東A】

飯田 苗恵
 岩永 喜久子
 上野 恭子
 内田 陽子
 角田 直枝
 金子 昌子
 加納 尚美
 川口 孝泰
 神田 清子
 近藤 浩子
 佐藤 正美
 佐藤 由美
 鈴木 純恵
 中村 美鈴
 成田 伸
 春山 早苗

廣瀬 規代美
 福島 道子
 森 千鶴
 横山 京子
 吉田 久美子

【関東B】

青木 きよ子
 荒木 暁子
 荒木田美香子
 石井 邦子
 石橋 みゆき
 太田 喜久子
 大塚 眞理子
 叶谷 由佳
 黒田 久美子
 黒田 裕子
 酒井 郁子
 坂上 明子
 佐藤 紀子
 佐藤 まゆみ
 諏訪 さゆり
 田高 悦子
 谷本 眞理子
 手島 恵
 長江 弘子
 野地 有子
 正木 治恵
 眞嶋 朋子
 増島 麻里子
 宮崎 美砂子
 宮脇 美保子
 森 恵美
 吉田 千文

【東京A】

麻原 きよみ
 泉 キヨ子
 井上 智子
 井部 俊子
 及川 郁子
 上別府 圭子
 亀井 智子
 萱間 眞美
 齋藤 やよい
 眞田 弘美
 武村 雪絵
 田代 順子
 永田 智子

西村 ユミ
 深堀 浩樹
 堀内 成子
 前田 樹海
 丸 光恵

森田 夏実
 山本 則子

【東京B】

秋山 正子
 飯野 京子
 柏木 公一
 香春 知永
 川野 雅資
 北 素子
 洪 愛子
 佐々木 幾美
 佐藤 紀子
 志自岐 康子
 高田 早苗
 武田 祐子
 鶴田 恵子
 野末 聖香
 福井 トシ子
 本庄 恵子
 宮子 あずさ
 守田 美奈子
 谷津 裕子
 吉田 みつ子
 綿貫 成明

【甲信越】

浅川 和美
 阿部 正子
 遠藤 みどり
 小林 たつ子
 小林 康江
 定方 美恵子
 清水 嘉子
 水野 恵理子
 渡邊 タミ子
 渡辺 みどり

【北陸】

稲垣 美智子
 上野 栄一
 川島 和代
 紺家 千津子
 須釜 淳子
 平松 知子

牧野 智恵

【東海】

會田 信子
 足立 はるゑ
 足立 久子
 天野 瑞枝
 池松 裕子
 岩瀬 信夫
 太田 勝正
 大津 廣子
 大西 文子
 岡田 由香
 門間 晶子
 鎌倉 やよい
 紙屋 克子
 北山 三津子
 黒江 ゆり子
 小島 操子
 小松 万喜子
 杉浦 太一
 鈴木 みずえ
 多喜田 恵子
 深田 順子
 古田 加代子
 本田 育美
 村本 淳子
 百瀬 由美子
 柳澤 理子
 山内 豊明
 山田 紀代美

【近畿A】

青山 ヒフミ
 阿曾 洋子
 荒尾 晴恵
 安藤 幸子
 上野 昌江
 江川 幸二
 小笠原 知枝
 北村 愛子
 工藤 美子
 グレッグ美鈴
 河野 あゆみ
 坂下 玲子
 佐藤 禮子
 清水 安子
 鈴木 久美
 鈴木 志津枝

高見沢恵美子
 田中 京子
 泊 祐子
 檜木野 裕美
 簗持 知恵子
 早川 和生
 林 優子
 藤原 千恵子
 法橋 尚宏
 増野 園恵
 町浦 美智子
 松田 宣子
 森 菊子
 山本 あい子

【近畿B】

江川 隆子
 遠藤 俊子
 岡山 寧子
 桂 敏樹
 我部山キヨ子
 河原 宣子
 北島 謙吾
 小坂橋喜久代
 田村 恵子
 中木 高夫
 西田 直子
 任 和子
 野村 陽子
 若村 智子

【中国・四国】

秋元 典子
 池添 志乃
 植田 喜久子
 岡本 玲子
 雄西 智恵美
 掛田 崇寛
 國方 弘子
 小山 眞理子
 佐伯 由香
 島内 節
 新道 幸恵
 祖父江 育子
 竹崎 久美子
 田中 マキ子
 近田 敬子
 津島 ひろ江
 時長 美希

中西 純子
 中野 綾美
 中山 洋子
 西田 真寿美
 乗松 貞子
 深井 喜代子
 藤田 佐和
 保科 英子
 南 裕子
 宮腰 由紀子
 宮下 美香
 森本 美智子
 森山 美知子
 山勢 博彰

【九州・沖縄】

宇佐美しおり
 宇都 由美子
 浦田 秀子
 大池 美也子
 岡崎 美智子
 奥 祥子
 小野 ミツ
 嘉手苺 英子
 木下 由美子
 金城 芳秀
 国府 浩子
 佐藤 香代
 正野 逸子
 田中 美智子
 堤 由美子
 寺町 芳子
 中尾 久子
 鳩野 洋子
 東 サトエ
 日高 艶子
 藤崎 郁
 藤田 君支
 前田 ひとみ
 松浦 賢長
 松尾 ミヨ子
 三重野 英子
 村嶋 幸代

以上、264名
 地区別
 五十音順

総務報告

1. 会員推移

平成26年4月1日～平成27年3月31日（平成26年度）

1) 正会員数増減

(1) 平成26年4月1日正会員数 7,184名

(平成26年3月31日正会員数 7,612名 - 平成26年度資格喪失者名 428名 = 7,184名)

自主退会 178名 + 会費未納 250名

(2) 平成26年度入会者 852名 (新規入会 749名 + 再入会 103名 = 852名)

(3) 平成26年度死亡喪失者 1名

2) 賛助会員増減 なし

3) 名誉会員増減 1名 (平成26年度承認 中西 睦子)

平成27年4月1日～平成27年10月31日

1) 正会員数増減

(1) 平成27年4月1日正会員数 7,528名

(平成27年度3月31日正会員 8,035名 - 平成27年度資格喪失者 507名 = 7,528名)

自主退会 204名 + 会費未納 303名

(2) 平成27年度の入会者 808名 (新規入会 728名 + 再入会 80名 = 808名)

(3) 平成27年度の死亡喪失者 2名

(4) 会員区分の変更 2名 (正会員から名誉会員)

2) 賛助会員増減 なし

3) 名誉会員増減 増3名 (平成27年度承認 金川 克子、川嶋 みどり、前原 澄子)
減1名 (中西 睦子)

4) 平成27年10月31日現在 会員数

正会員 8,332

名誉会員 15

賛助会員 5

会員総数 8,352

名誉会員	山崎 智子 松野かほる 氏家 幸子 兼松百合子 林 滋子 飯田澄美子 日野原重明 稲岡 文昭 樋口 康子 薄井 坦子 中島紀恵子 小玉香津子 金川 克子 川嶋みどり 前原 澄子
賛助会員	(株) 医学書院 (株) へるす出版 (株) 南江堂 (株) 日本看護協会出版会 (有) ヌーヴェルヒロカリ

総務報告

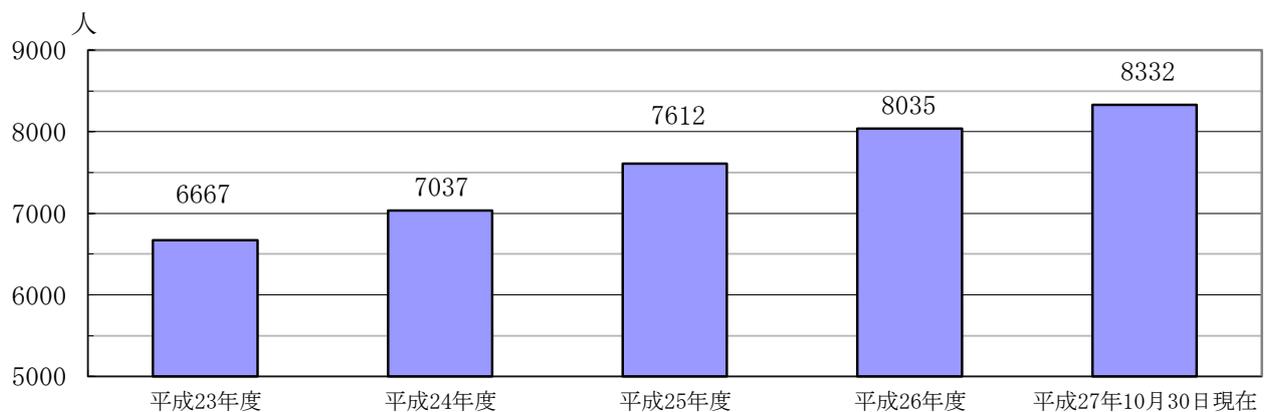
2. 地区別正会員数

地区	都道府県	正会員数	地区	都道府県	正会員数	地区	都道府県	正会員数				
北海道	北海道	361	北陸	富山	49	九州・沖縄	福岡	420				
				石川	117		佐賀	46				
東北	青森	131	東海	福井	59		長崎	55				
	岩手	60		静岡	175		熊本	83				
	宮城	137		愛知	408		大分	59				
	秋田	62		岐阜	175		宮崎	62				
	山形	67		三重	164		鹿児島	47				
	福島	37		近畿 A	大阪		485	沖縄	98			
関東 A	茨城	116	944	兵庫	459		宛先不明者		42			
	栃木	104	近畿 B	滋賀	121		合計		8,332			
	群馬	156		京都	223							
	埼玉	266		457	奈良	87						
千葉	357	和歌山		26								
関東 B	神奈川	509	中国・四国	鳥取	31							
東京 A	※1	600		島根	61							
	東京 B	※2		655	岡山	177						
甲信越		新潟		103	広島	267						
					長野	107	山口	57				
							山梨	83	徳島	70		
									香川	77		
愛媛		64										
高知	157											

※1 千代田区、中央区、港区、台東区、文京区、北区、荒川区、足立区、葛飾区、墨田区、江戸川区、江東区、品川区、大田区、島しょ、海外

※2 渋谷区、目黒区、世田谷区、新宿区、中野区、杉並区、豊島区、板橋区、練馬区、多摩地域

3. 正会員数の推移（年度別）



公益社団法人日本看護科学学会 理事会報告

(平成26年11月29日～平成27年12月4日)

書面理事会

日時：平成26年12月18日（木）

（理事会の決議があったものとみなされた日：平成26年12月22日）

出席者：理事14名

<議案>

一般社団法人日本看護系学会協議会の原始社員就任について

平成26年度第6回理事会

日時：平成27年2月11日（水） 13:00～17:10

場所：日本看護科学学会事務所（東京都文京区本郷3-37-3 富士見ビル201号室）

出席者：理事11名、監事1名、第34回学術集会会長、第35回学術集会会長

<確認事項>

平成26年度第5回理事会議事録

平成26年12月書面理事会議事録

平成26年11月社員総会議事録

第34回学会総会議事録

<報告および審議事項>

1. 第34回日本看護科学学会学術集会（JANS34）の最終報告
2. 第35回日本看護科学学会学術集会（JANS35）の準備状況
3. 役員候補者（理事、監事）選挙公示（案）
4. 「学術集会開催に関する申し合わせ」の改正案の承認
5. 6月定例社員総会の議事次第（案）
*平成27年6月定例社員総会の開催について
（欠席者の議決権の行使方法について）
6. 各委員会における今年度予算執行状況
7. 各委員会からの報告および審議事項
 - 1) 総務委員会
 - 2) 和文誌編集委員会
 - 3) 英文誌編集委員会
 - 4) 研究・学術情報委員会

- 5) 国際活動推進委員会
- 6) 看護学学術用語検討委員会
- 7) 看護倫理検討委員会
- 8) 社会貢献委員会
- 9) 表彰論文選考委員会
- 10) 広報委員会
- 11) 研究倫理審査委員会
- 12) 災害看護支援事業専門委員会
- 13) 学術振興事業検討委員会
- 14) 他団体との連携について

- ・ 日本看護系学会協議会、日本学術会議、その他の機関
- ・ 看護系学会等社会保険連合（看保連）
- ・ 世界看護科学学会

8. 総務会からの報告

- 1) 総務正職員の新規採用について
- 2) 学会運営の効率化について

9. 入会希望者の承認

10. その他

〈連絡事項〉

委員会事業報告および経費支払伝票の提出について（平成 26 年度 6 月定例社員総会の資料として）

書面理事会

日 時：平成 27 年 3 月 10 日（火）

（理事会の決議があったものとみなされた日：平成 27 年 3 月 20 日）

出席者：理事 14 名

〈議案〉

日本看護系学会協議会役員選挙における被選挙人推薦についての承認

平成 27 年度第 1 回理事会

日 時：平成 27 年 5 月 10 日（日） 13：00～17：40

場 所：日本看護科学学会事務所（東京都文京区本郷 3-37-3 富士見ビル 201 号室）

出席者：理事 14 名、監事 2 名、第 34 回学術集会会長、第 35 回学術集会会長、選挙管理委員会委員長

〈報告事項〉

- ・ 平成 26 年度第 6 回理事会議事録
- ・ 平成 27 年 3 月 書面理事会議事録
- ・ 総務正職職員 1 名の採用についての報告

〈審議事項〉

1. 第 35 回日本看護科学学会学術集会の準備状況
2. 第 36 回日本看護科学学会学術集会（JANS36）の準備状況
3. 選挙報告
4. 平成 27 年 6 月定例社員総会について
 - 1) 平成 27 年定例社員総会資料の確認
 - ① 平成 26 年度事業報告の承認
 - ② 平成 26 年度決算の承認
 - ③ 役員選任案の承認
 - 2) 議事進行および役割分担の確認
5. 新名誉会員の推薦について
6. 定款変更案（第 38 条 理事会の議事録）
7. 日本看護系学会協議会平成 27 年役員選挙での投票についての報告
8. Medical Online 企業向け著作権権利許諾について
9. 第 1 回日本混合研究法学会 国際学術集会の協賛について
10. 会計に関する申し合わせの変更案
11. 各委員会における今年度予算執行状況
12. 各委員会からの報告および審議事項
 - 1) 総務委員会
 - 2) 和文誌編集委員会
 - 3) 英文誌編集委員会
 - 4) 研究・学術情報委員会
 - 5) 国際活動推進委員会
 - 6) 看護学学術用語検討委員会
 - 7) 看護倫理検討委員会
 - 8) 社会貢献委員会
 - 9) 表彰論文選考委員会
 - 10) 広報委員会
 - 11) 研究倫理審査委員会
 - 12) 災害看護支援事業専門委員会

13) 学術振興事業検討委員会

14) 若手研究推進委員会

15) 他団体との連携について

- ・ 日本看護系学会協議会、日本学術会議、その他
- ・ 看護系学会等社会保険連合（看保連）

13. 入会希望者の承認

14. その他

平成 27 年度第 2 回理事会

日 時：平成 27 年 6 月 21 日（日） 9：00～10：30

場 所：AP 東京八重洲通り 11 階 O ルーム

（〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 10 番 7 号 KPP 八重洲ビル 11 階）

出席者：理事 12 名、監事 2 名

〈報告事項〉

- ・ 平成 27 年度第 1 回理事会議事録

〈審議事項〉

1. 平成 27 年 6 月定例社員総会について
 - 1) 平成 27 年定例社員総会資料の確認
 - 2) 議事進行および役割分担の確認
2. 第 34 回日本看護科学学会学術集会（JANS34）における抄録掲載後の取下げについて
3. 和文誌の受益者負担冊子と定款について
4. 各委員会における事業の進捗状況
5. 入会希望者の承認
6. その他

平成 27 年度臨時理事会

日 時：平成 27 年 7 月 25 日（土） 13：00～15：10

場 所：日本看護科学学会事務所（東京都文京区本郷 3-37-3 富士見ビル 201 号室）

出席者：理事 10 名、監事 2 名、第 36 回学術集会会長

〈報告事項〉

- ・ 学術振興事業検討委員会報告書

〈審議事項〉

1. 第 36 回日本看護科学学会学術集会について
2. 今後の理事会・平成 28 年 6 月定例社員総会日程について
3. 定款施行細則変更案の承認
4. 会務分掌案および委員の承認
5. 平成 27 年度予算案の確認（各委員会予算を含む）
6. JANS34 における演題取り下げ事例に関する対応策について
7. 各委員会からの報告および審議事項
 - 1) 総務委員会
 - 2) 和文誌編集委員会
 - 3) 英文誌編集委員会
 - 4) 研究・学術情報委員会（第 6 回 JANS セミナーの報告含む）
 - 5) 国際活動推進委員会
 - 6) 看護学学術用語検討委員会
 - 7) 看護倫理検討委員会
 - 8) 社会貢献委員会
 - 9) 表彰論文選考委員会
 - 10) 広報委員会
 - 11) 研究倫理審査委員会
 - 12) 災害看護支援事業専門委員会
 - 13) 若手研究推進委員会
 - 14) 利益相反委員会
 - 15) 他団体との連携について
 - ・ 日本看護系学会協議会（医療事故調査等支援団体に関する申し出について）
 - ・ 日本学術会議
 - ・ 看護系学会等社会保険連合（看保連）
8. 入会希望者の承認
9. その他

平成 27 年度第 3 回理事会

日 時：平成 27 年 9 月 20 日（日） 13：00～16：30

場 所：日本看護科学学会事務所（東京都文京区本郷 3-37-3 富士見ビル 201 号室）

出席者：理事 10 名、監事 2 名、第 35 回学術集会会長、第 36 回学術集会会長

〈報告事項〉

- ・ 平成 27 年度第 2 回理事会議事録
- ・ 平成 27 年度臨時理事会議事録
- ・ 平成 27 年度 6 月定例社員総会議事録

〈審議事項〉

1. 第 35 回日本看護科学学会学術集会の準備状況
2. 第 36 回日本看護科学学会学術集会の準備状況
3. 第 38 回日本看護科学学会学術集会（JANS38）会長の候補者選出
4. 12 月社員総会の議事次第（案）と欠席者の議決権行使方法についての確認
5. 第 35 回学会総会の議事次第（案）の確認
6. JANS34 における演題取り下げ事例への対応について
7. 各委員会からの報告および審議事項
8. 世界看護科学学会（WANS）理事会出席者について
9. 「看護研究」誌特集号について
10. 入会希望者の承認
11. その他

〈連絡事項〉

1. 委員会活動報告および活動計画・予算案の提出について
2. JANS35 学術集会開催時期の各会議、宿泊等について
3. 事務所警備システム（ALSOK）の操作マニュアル

平成 27 年度第 4 回理事会

日 時：平成 27 年 10 月 25 日（日） 13：00～17：00

場 所：日本看護科学学会事務所（東京都文京区本郷 3-37-3 富士見ビル 201 号室）

出席者：理事 14 名、監事 1 名、第 36 回学術集会会長

〈報告事項〉

平成 27 年度第 3 回理事会議事録（案）

〈審議事項〉

1. 第 35 回日本看護科学学会学術集会の準備状況
2. 第 36 回日本看護科学学会学術集会の準備状況
3. 第 38 回日本看護科学学会学術集会会長の承認
4. 各委員会からの報告および審議事項
5. 各委員会における平成 28 年度事業計画と平成 28 年度予算案

6. 12月社員総会の議案の承認および進行分担表の確認
 - 1) 社員総会の開催について
 - 2) 平成28年度事業計画案の承認
 - 3) 平成28年度予算案の承認
7. 第35回学会総会の資料(案)および進行分担表の確認
8. 入会希望者の承認
9. その他

〈連絡事項〉

- JANS35 関連出張/出欠・宿泊希望の一覧第35回学術集会会長

平成27年度第5回理事会

日時：平成27年12月4日(金) 15:00~17:00

場所：リーガロイヤルホテル広島 4階 竹の間 (広島市中区基町6-78)

出席者：理事14名、監事2名、第36回学術集会会長

〈確認事項〉

- ・ 平成27年度第4回理事会議事録(案)
- ・ 平成28年度各委員会事業計画・予算(確定版)

〈審議事項〉

1. 第36回日本看護科学学会学術集会の準備状況
「協賛企業広告の掲載方法について」
2. 平成27年12月社員総会議案の承認および進行分担表の確認
 - ・ 平成28年度予算案の承認
3. 第35回学会総会資料および進行分担表の確認
4. 各委員からの審議事項
5. 入会希望者の承認
6. その他

公益社団法人日本看護科学学会 社員総会報告

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 12 月 4 日)

平成 27 年 6 月定例社員総会

日 時 平成 27 年 6 月 21 日 (日) 11:00～13:30

場 所 AP 東京八重洲通り

東京都中央区京橋1丁目10番7号 KPP八重洲ビル11階 Tel. 03-6228-8109

総社員数: 264 名

出席社員数: 230 名 (うち委任状 108 名)

- I. 開会
- II. 理事長挨拶
- III. 第35回日本看護科学学会学術集会会長の挨拶
- IV. 議長指名および議事録署名人の承認
- V. 報告事項
 1. 理事会および社員総会活動状況
 2. 総務報告
 3. 選挙管理委員会報告
 4. 平成 26 年度事業報告
 - (1) 第 34 回日本看護科学学会学術集会開催
 - (2) 第 35 回・第 36 回日本看護科学学会学術集会準備
 - (3) 和文誌の発行 …電子ジャーナル (J-Stage) 十年 1 回合本版
 - (4) 英文誌の発行 …電子ジャーナル (Wiley)
 - (5) 看護学学術振興対策
 - ① 看護学学術用語の検討
 - ② 国際活動の推進 (世界看護科学学会を含む)
 - ③ 看護倫理の検討と啓発
 - ④ 研究成果の蓄積と活用
 - (6) 学術研究論文の表彰
 - (7) 学会組織の強化・発展
 - ① 若手研究者育成のための新規事業
 - ② JANS セミナー
 - ③ 学術振興事業の検討
 - ④ 学会誌の電子化
 - ⑤ 選挙の電子化
 - ⑥ 委員会等の遠隔会議システムの導入
 - (8) 社会貢献活動
 - (9) 広報活動
 - (10) 災害看護支援事業 (日本看護系学会協議会との共同事業による)
 - (11) 他機関との連携活動
 - ① 日本看護系学会協議会
 - ② 看護系学会等社会保険連合
 - ③ 日本学術会議
 - ④ その他の機関
 - (12) 平成 27 年選出代議員選挙実施、平成 27 年選出役員候補者選挙準備
 - VI. 審議事項
 1. 平成26年度決算の承認および会計監査の報告
 2. 役員選任案の承認
 3. 定款変更案の承認
 4. 名誉会員の承認
 - VII. その他
 - VIII. 閉会

平成 27 年 12 月社員総会

日 時 平成 27 年 12 月 4 日（金） 17：30～20：00

場 所 リーガロイヤルホテル広島 3 階 瀬戸

広島市中区基町6-78 TEL: 082-502-1121

総社員数：264 名

I. 開会

II. 理事長挨拶

III. 第35回日本看護科学学会学術集会会長の挨拶

IV. 議長指名および議事録署名人の承認

V. 総務報告・理事会報告・委員会活動報告

VI. 審議事項

第1号議案 平成28年度事業計画案の承認

第2号議案 平成28年度予算案の承認

第3号議案 第38回日本看護科学学会学術集会会長の承認

VII. 閉 会

公益社団法人日本看護科学学会 平成27年度委員会名簿および分掌事項

委員会	役職	氏名	会務分掌
総務	委員長	麻原 きよみ 西村 ユミ 深堀 浩樹	<ul style="list-style-type: none"> ・会員管理 ・入会審査 ・学会事務所の運営（総務会に提案し検討）
	委員	山本 則子 吉沢 豊予子 浅野 みどり 荒木 暁子 和泉 比佐子 牛久保美津子 内田 陽子 遠藤 淑美 大久保 暢子 落合 亮太 小野 智美 片岡 弥恵子 河野 あゆみ 佐伯 圭一郎 佐伯 由香 酒井 明子 佐藤 紀子 清水 安子 鈴木 みずえ 田中 美智子 長谷川 真澄 春名 めぐみ 眞 嶋 朋子 三木 明子 宮下 光令 吉田 俊子 宮本 有紀	<ul style="list-style-type: none"> ・学会誌（オンライン版）の出版 ・学会誌への投稿の促進 ・機関リポジトリへの対応 ・査読者の質向上を目的としたセミナー等の開催 ・表彰論文選考への参画 ・投稿査読システム変更についての会員への周知
英文誌編集	編集長	William L. Holzemer	<ul style="list-style-type: none"> ・英文誌（オンライン版）の出版 ・投稿論文促進のための活動 ・ジャーナルの認知度・評価向上のための活動 ・若手研究者支援事業の推進 ・表彰論文選考への参画 ・査読システムの整備
	委員長	グレッグ美鈴 西垣 昌和 池田 理恵 石川 陽子 石原 逸子 和泉 成子 梅田 麻希 岡田 彩子 尾崎 章子 北岡 和代 佐々木美奈子 鈴木 美穂 田村 恵子 永田 智子 中村 美鈴 野口 眞弓 深井 喜代子 法橋 尚宏 堀内 成子 前田 ひとみ 丸 光恵 丸山 昭子 森 恵子 山川 みやえ 山崎 あけみ 江藤 宏美	
研究・学術情報	委員長	酒井 郁子 西垣 昌和 荒木 暁子 石橋 みゆき 大久保 暢子 大田 えりか 小池 智子 齋藤 訓子 田高 悦子 深堀 浩樹	<ul style="list-style-type: none"> ・内外の看護学研究に関する情報の収集、整理、発信 ・研究成果が診療報酬に適切に反映できるような活動の推進
	委員		

委員会	役職	氏名	会務分掌
国際活動推進	委員長	中山 洋子 中南 裕子 近藤 暁子 近藤 麻理 杉本 敬子 田代 順子 成瀬 和子 柳澤 理子	<ul style="list-style-type: none"> 国際的な看護学研究機関とのネットワークの構築 世界看護科学学会事務局業務
	会計	神原 咲子	
看護学術用語検討	委員長	高田 早苗 大森 純子 小坂橋 喜久代 佐藤 和佳子 野嶋 佐由美	<ul style="list-style-type: none"> 看護学術用語に関する現状と展望の検討 看護学術用語の維持管理システム構築に向けた検討
	会計	川原 由佳里	
看護倫理検討	委員長	鎌倉 やよい 會田 信子 太田 勝正 太田 若麻理 宮下 美香 百瀬 由美子	<ul style="list-style-type: none"> 看護学が関連する研究・教育・臨床における倫理的課題の整理および即時的対応 研究者のモラル向上に向けた活動 看護学が関連する倫理的社会的社会事象に対する情報収集・提供と、学会としての対応案の検討と社会に向けた見解の発信 研究倫理審査における異議申し立てに関する審議
	会計	飛田 伊都子	
社会貢献	委員長	吉沢 豊予子 天野 雅美 尾崎 章子 布施 淳子 前田 樹海 宮下 美香 山村 枝香 中村 康香	<ul style="list-style-type: none"> 一般市民に向けた活動 看護学を通じた社会への貢献およびその方策の検討・普及 学術集会開催時の他に社会貢献の実績を残す (市民公開講座、出版等) 次世代の育成事業
	会計		
表彰論文選考	委員長	真田 弘美 山本 則子 グレッグ美鈴 須釜 淳子 仲上 豪二朗 宮下 光令 山勢 博彰 竹内 朋子	<ul style="list-style-type: none"> 和文誌・英文誌投稿論文からの表彰候補論文選考作業の円滑な運営 学会としての表彰論文の推薦 看護学への功績(学問の体系化等)のある人への表彰についての検討 他団体からの表彰に該当する候補者の推薦
	会計		
広報	委員長	勝原 裕美子 大坂 和可子 北村 愛子 本田 順子 大山 裕美子	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ(JANS/WANS)の維持・管理・改善 学会活動の広報(委員会成果物のHP掲載等) 学術集会の広報(プレスリリース等) WANS本部・WANS学術集会の広報 学術集会の記録
	会計		
若手研究推進	委員長	西村 ユミ 岩國 亜紀子 大澤 絵里 鳥本 靖子 濱吉 美穂 丸尾 智実 綿貫 成明 坂井 志織	<ul style="list-style-type: none"> 日本学術会議若手アカデミーをはじめ、国内外の多学問分野の若手研究者と積極的な交流を図り、将来的な看護学の発展への貢献を目指す 学術集会の交流集会を定期的に企画・運営し、若手の研究活動の促進に努める 若手研究者向けの研修に関するニーズ把握、及び学術情報や活動を周知する方法を検討する
	会計		
災害看護専門支援	委員長	中山 洋子 井上 智子 麻原 きよみ 吉沢 豊予子 高田 早苗 山本 あい子	<ul style="list-style-type: none"> 災害看護支援金の申請者等の選定の審査およびフォローを行う 日本看護系学会協議会等と話し合い、災害看護活動支援のための募金および支援金の支給、災害看護支援事業専門委員会は、平成27年度をもって終了する JANSとしての災害看護活動のあり方について今後の方向性を検討する
	JANA役員 JANA役員		
利益相反	委員長	吉沢 豊予子 麻原 きよみ 跡上 富美 稲垣 美智子 法橋 尚宏	<ul style="list-style-type: none"> 役員等の潜在的利益相反判定を実施し該当の案件についてマネジメント方法を判定し、不適切な事象が起こらないようにマネジメントする。また、本会が行うすべての事業で、重大なCOI状態が生じた場合は、利益相反委員会が諮問し、答申に基づき改善措置をとる
	会計		
研究倫理審査	委員長	井上 智子	<ul style="list-style-type: none"> 学会員からの申請で、原則として学会員が研究筆頭者であり、本学会で審査することが必要であるとみなした場合に、申請された人を対象とした看護研究が、倫理的配慮のもとに行われるかどうかを審査する
	副委員長 外部委員 外部委員 外部委員	武田 祐子 香春 知永彦 隈本 邦彦 戸塚 実緒 友納 理緒	
選挙管理	委員長	高木 廣文 野口 眞弓 書記 二宮 啓子 庶務 岡 美智代 庶務補佐 桑名 佳代子	<ul style="list-style-type: none"> 理事会からの委嘱により組織し、代議員および役員候補者選挙を行う
	副委員長		

委員会活動報告

1) 総務委員会

- ・ 入会審査の理事会報告、及び会員のデータ管理を行っている。会員管理についてはオンラインシステムを使用しており、会員自身のマイページ利用による更新が平成27年4月1日～平成27年10月31日までの間1,690件と順調に稼働している。
- ・ ホームページや登録されている会員のメールアドレスへの配信により、会員への迅速な情報伝達を行った。なお、現メールアドレスの登録状況は8,179件（全会員の95%）であり、内約400件がメールの到着が不確定である。
- ・ 平成27年10月31日現在の正会員数は、8,332名である。
- ・ 学会事務所職員の勤務内容の把握、調整、面談を適宜行った。月1-2回、事務所にて、業務遂行状況の確認および相談を行った。
- ・ 定例社員総会準備を行った。
- ・ 各理事会、社員総会の議事の記録を担当した。
- ・ 事務所運営の効率化・適正化を図るため、事務所職員体制、人事評価や給与体系、および研修体制等について検討した。

2) 和文誌編集委員会

- ・ 理事会の交替に伴い、平成27年7月より編集委員長も交替し、新たな編集委員会（委員26名）を組織した。
- ・ 和文誌編集委員会を1回開催（平成27年6月20日）開催した。
- ・ 投稿論文編集・査読システム業者の変更に伴う打ち合わせを2回実施（平成27年8月4日、9月15日）した。
- ・ 投稿論文編集・査読システム業者を国際文献社から中西印刷に変更した。国際文献社での投稿受付を9月30日で終了し、中西印刷によるシステム運営が10月1日から開始されている。現在は移行時期として、電子メールによるオンライン投稿を運用している。オンライン投稿システムの本格的な始動は平成28年1月1日を予定している。

- ・平成26年度の投稿論文数は70論文で、56論文(平成23年度)、63論文(平成24年度)、74論文(平成25年度)で推移している。
- ・表彰論文選考に参画した。
- ・査読システムガイドラインを改訂中である。
- ・第35回日本看護科学学会学術集会(JANS35)で交流集会(「著者をエンパワメントする査読コメントを書こう」)を実施予定である(12月6日)。

3) 英文誌編集委員会

- ・Holzemer編集長が来日のもと、対面式の編集委員会を1回、TV会議システムを用いた日本語での編集委員会を1回、スカイプによる小委員会を3回開催した。
- ・Japan Journal of Nursing Science Vol.11, No.4、Vol.12, No.1~3(9月末の時点)をオンラインで発刊した。
- ・2014年11月2日に啓発活動としてのJJNSセミナー“Improving Your Success at Publishing in English 2014”を東京で開催した。参加者184名で好評であった。
- ・若手研究者支援事業として、1編の助成対象論文を決定した。昨年度の助成対象論文2編のうち1編はJJNSに掲載された。
- ・JJNSプロモーション活動の一環として、2014年度の優秀賞および奨励賞を受賞したJJNSに掲載された論文各1編をフリーアクセスとした。
- ・Optional open access(希望によるオープンアクセス化)が可能となるように投稿規程を改定した。
- ・2014年度のimpact factorは、0.388であった(2015年6月発表による)。

4) 研究・学術情報委員会

- ・第6回JANSセミナー「責任ある研究行為ー知っておきたい利益相反&オーサーシップー」を開催した。
- ・JANS若手アカデミーを、「若手研究推進委員会」として常置委員会化した。
- ・看護系学会等社会保険連合(看保連)関連委員会、情報交換会に出席した。
- ・看護学における研究優先課題設定を目的とした情報収集・整理、および調査計画に着手した。
- ・第7回JANSセミナー「エビデンスを統合するーシステムティックレビューとメタ統合ー」(仮)

を企画している。

5) 国際活動推進委員会 (世界看護科学学会を含む)

- ・ 異文化データベースの見直しを行い、情報提供の枠組みや情報の更新・修正を行い、活用しやすいものにするための検討を行っている。
- ・ 看護学のグローバルスタンダードや国際看護学教育のあり方の検討のために、「看護系大学院教育のグローバル化」に関する状況調査」を11月～12月にかけて行うとともに、国際看護・国際保健に関わる会員のネットワークの構築を図っている。

(世界看護科学学会 World Academy of Nursing Science : WANS)

- ・ 第4回 WANS 学術集会 (会長 Meyenburg-Altwarz, Iris) がドイツの Hannover において ENDA と共同で2015年10月14日から10月17日まで開催された。WANS 事務局として開催の支援を行うとともに、WANS 理事会を10月16日16:30から開催した。

6) 看護学学術用語検討委員会

- ・ 13期の委員会が8月から発足し、9月に開催した委員会で今期の活動方針について検討した。
 - ① 第9・10期に100語から成る「看護学を構成する重要な用語集」が出され、定義の仕方に若干のばらつきがあるものの、一応の完成形とみられる。ただ、アイウエオ順に並べられ、体系化がはらかれているわけではないことを確認した。
 - ② 新規用語の定義やメンテナンスの仕組み (前期委員会) の継続的検討に入る前に、用語の体系化・系統化を視野に入れた検討を進める必要があるのではないか。幾通りかあるが、用語 (重要概念) の変化・発展について、研究動向をおさえながら系譜学的に明らかにすることを通して系統化を図るなど、今後の方向性を検討した。
 - ③ これまでの委員会活動による学術用語検討の成果物について学会員がどの程度知っているか、どの程度利用・活用されているか、学術用語検討に関する学会員のニーズは何か、等について、ウェブ調査を実施する。

7) 看護倫理検討委員会

- ・ 理事会の交替に伴い、平成 27 年 7 月より委員長が交替し、新たに看護倫理検討委員会（委員 7 名）を組織した。
- ・ 看護倫理検討委員会を 1 回開催し（平成 27 年 9 月 23 日）、平成 27・平成 28 年度方針及び事業案を以下のとおり検討した。
 - ① 社会で起きている倫理問題に対して即時的な対応を行い、学会としての見解を社会に向けて発信を継続すると共に、科学者の行動規範・不正行為に関する事項への対応や啓発等について検討する。
 - ② 「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」（2014 年 2 月 18 日）の改正、「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」（2014 年 8 月 26 日）及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（2014 年 12 月 22 日）の制定に伴い、研究者が研究活動においてどのように実行しているのかを調査し、結果を日本看護科学会誌へ論文投稿する。
 - ③ 調査結果に基づき、平成 28 年の第 36 回日本看護科学学会学術集会（JANS36）において交流集會を企画する。

8) 社会貢献委員会

- ・ 平成 27 年度社会貢献委員会は新メンバーで発足した。
- ・ JANS35 における企画は、前年度社会貢献委員会案を参考にメール会議により、検討を重ね決定した。市民フォーラムのテーマは「けん玉でいきいき健康づくり-けん玉を体験してみよう-」とし、公益社団法人けん玉協会所属 2 名の講師による講演と実際の体験講習を企画した。また、中学・高校生を対象としたナーシング・サイエンス・カフェは、テーマを「時代を拓く看護の魅力-見て聞いて触れて感じて考える、看護の役割」とし、3 名の看護師、保健師、助産師をお迎えし、講演していただく。また、広報委員会と連携し、企画の広報に努めた。
- ・ 平成 28 年 3 月はじめての対面委員会を開催し、JANS35 社会貢献企画の評価と JANS36 企画立案を立てる確認をした。

9) 表彰論文選考委員会

- ・ 表彰論文選考委員会を 3 回（7 月、8 月、10 月）開催した（7 月はメール審議、8 月は対面会議、10 月はメール審議と一部委員による対面会議にて実施した）。
- ・ 第 1 回委員会（7 月）にて表彰論文選考方針、選考基準、選考手順を平成 26 年度の方針に準ずることを確

認し、8月会議開催までに候補論文すべてについて委員の審査を終えることを確認した。

- ・ 第2回委員会（8月18日）にて優秀賞候補7論文（和文5論文、英文2論文）および奨励賞候補6論文（和文5論文、英文1論文）を絞り込み（うち、3本重複）、審査リストを作成した。これらについて、平成27年9月1日に全代議員264名と役員に文書及びメールにて採点を依頼した。
- ・ 10月15日までに返信された163通について評価点の集計を行った（回収率61.3%）。
- ・ 第3回委員会（10月6日）にて集計結果に基づき最終選考を行い、以下のように優秀賞2編、奨励賞2編を決定し、理事会（10月25日）に報告し、承認を得た。

【優秀賞】

- (ORIGINAL ARTICLES) Kumiko Ohashi. Effects of early morning care, named “Comfort upon Rising” care, on postoperative orthopedic ambulation and morning activity. Japan Journal of Nursing Science, 11(4), 268~280.
- (原著)高橋 有里, 菊池 和子, 三浦 奈都子, 石田 陽子. BMI からアセスメントする筋肉内注射時の適切な注射針刺入深度の検討. 日本看護科学会誌 Vol.34,pp.36-45.

【奨励賞】

- (研究報告) 山内 朋子. 他者とうまく距離をとることができない発達障害の学童に対する看護師のかかり. 日本看護科学会誌 Vol.34,pp.170-179.
- (研究報告) 藤田 景子. ドメスティック・バイオレンス被害女性の周産期および育児期を通じた DV 被害に対する認識の回復過程. 日本看護科学会誌 Vol.34,pp.198-207.

10) 広報委員会

- ・ 広報委員会を1回開催（9月）。次回は平成28年2月に開催予定である。この他、必要時メール会議を開催した。
- ・ 連携手順と業務マニュアルに基づき、JANS35 企画委員会と連携し広報活動を行った。具体的には、プレスリリースや学術集会の記録などである。
- ・ 社会貢献委員会との連携により、市民フォーラムおよび、ナーシング・サイエンス・カフェのポスターを作成し広報を行った。
- ・ 学会 HP 内容の更新・整理を行った。

11) 若手研究推進委員会

- ・ 若手研究推進委員会を、対面式（8月29日）およびWeb媒体（4月27日）にて2回開催した。
- ・ JANS35 交流集会の企画、打ち合わせを行った。JANS36 の企画案も並行して検討した。
- ・ JANS 若手の会 HP 作成について検討・準備を行った。
- ・ 若手の研修ニーズ調査について検討・準備を行った。
- ・ JANS 若手メーリングリストを活用し、情報の発信を行った。
- ・ 日本学術会議主催の公開シンポジウム「ダイバーシティが創る卓越性～学術界における女性・若手研究者の進出～」(9月4日)に参加し、得られた情報や考えさせられたことを、メルマガ形式で発信した。

12) 災害看護支援事業専門委員会

- ・ 平成27年度災害看護支援金による助成事業の募集を行い、11件の応募（助成希望額の総額は5,218,290円）があった中から、平成27年度災害看護支援事業専門委員が看護支援事業規程第7条並びに応募要項の採択基準に基づいて厳正に審査を行った結果、平成27年度分として以下の2件を採択した。助成金の総額は、700,000円であった。

代表者氏名	事業名
中井 寿雄	医療処置を要する在宅療養者と支援者が共同で備えをするための「災害備えチェックシート」の開発～生命維持のために医療機器を要する在宅療養者の災害に対する備えの実態～
山本 由子	被災高齢者への継続的な健康維持支援プログラムの検討

- ・ 平成27年9月末に事業の進捗状況について中間報告の提出を受け、事業が順調に実施されていることを確認した。
- ・ 本事業は日本看護系学会協議会（JANA）との共催で実施しているため、平成26年度助成事業の最終報告書、収支報告書および平成27年度助成事業の中間報告書をJANAに提出した。

13) 利益相反委員会

- ・ 平成27年度から常設の委員会として利益相反委員会が発足した。構成員を5名とした。

- ・平成27年は猶予期間であるため、初めに役員、学術集会会長、各委員会委員に対し、利益相反申告書による報告を求めた。
- ・日本看護科学会誌、Japan Journal of Nursing Science の投稿時に利益相反申告の時期と方法を検討した。平成28年1月1日より、投稿時に利益相反を申告する。
- ・「日本看護科学学会における学術活動の利益相反に関する指針」の細則の検討をした。
- ・平成28年度から利益相反申告はすべてにおいて開始するため、JANS36に向けて、学術集会等での発表時の利益相反申告の方法の説明内容について検討した。

14) 研究倫理審査委員会

- ・1件の申請があり、簡易審査を行った。

15) 他機関との連携活動

① 日本看護系学会協議会

- ・平成27年6月30日(火)、平成27年度総会が日本赤十字看護大学広尾キャンパスで開催され、理事長が出席した。役員の変更結果について説明があり、新役員が紹介された。医療事故報告制度に関する学会の役割について厚生労働省の担当者から説明があり、各学会に今後の本制度への対応について依頼があった。

② 看護系学会等社会保険連合

- ・平成27年度社員総会が4月23日(木)に開催され、平成26年度決算、平成27年度事業計画・予算案、新役員が承認された。役員は、理事7名、監事2名のうち、再任が6名、新任が3名であった。
- ・平成27年度の理事会は、5月から10月末までに4回開催された。
- ・平成27年度の新規事業として、情報交換会を年4回開催することになった。これは診療報酬や介護報酬について意見交換を行い、仕組みや課題を理解するという趣旨である。1回目は「診療報酬の変遷としくみ」というテーマで7月23日に、2回目は「DPCと看護の評価」というテーマで11月19日に開催予定。3回目、4回目は「介護報酬のしくみ」「入院基本料のしくみ」をテーマに今年度中に実施する予定である。
- ・平成28年の診療報酬改定に向けて、「平成28年度技術評価提案書」(未収載技術11件、既収載技術9件)を6月18日に厚生労働省保険局へ提出した。

- ・ 平成 28 年の診療報酬改定に向けて、「平成 28 年度診療報酬改訂に関する要望書」を 8 月 10 日に厚生労働省保険局へ提出した。地域包括ケアシステムを支える看護の機能の評価と、効率的・効果的な医療に繋がる看護の専門性への評価という 2 つの重点要望を掲げた。
- ・ 一般社団法人日本褥瘡学会から新規加盟申請があり、9 月 10 日の理事会において承認された。

③ 日本学術会議

- ・ 日本学術会議から提供のあった日本学術会議ニュース・メールを役員に提供した。

④ その他の機関

- ・ 対応すべき事案はなかった。

16) 選挙管理委員会

- ・ 代議員選出規程ならびに役員候補者選出規程に則り、Web を利用した電子投票（以下、Web 投票）方式を用いた各選挙を行った。

代議員選挙について

- ・ Web 投票期間：平成 27 年 1 月 13 日～27 日
- ・ 開票：平成 27 年 1 月 29 日 11 時～。開票立会人：有森直子先生（聖路加国際大学）
- ・ 選挙人数 7,943 名、被選挙人数 7,870 名（2 期連続代議員を除くため）、投票者総数 1,726 名、投票率 18.9%～29.7%（13 地区平均 21.7%）※前回（平成 23 年 1 月）マークシート式代議員選挙投票率は 39.5%
- ・ 新代議員名簿の理事会への提出は平成 27 年 2 月 27 日（＝代議員就任日）。各地区の定数に従い、合計 264 名の代議員を選出した。

役員候補者選挙について

- ・ Web 投票期間：平成 27 年 3 月 16 日～29 日
- ・ 開票：平成 27 年 3 月 30 日 11 時～、開票立会人：安梅勅江先生（筑波大学）
- ・ 選挙人数 264 名、被選挙人数 264 名、投票者総数（理事候補者選挙 188 名、監事候補者選挙 177 名）、投票率（理事候補者選挙 71.2%、監事候補者選挙 67.0%） ※前回（平成 25 年 3 月）Web 投票式理事候補者選挙の投票率は 70.3%
- ・ 役員候補者名簿の理事会への提出：平成 27 年 5 月 10 日（平成 27 年第 1 回理事会）

貸借対照表
平成 27年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	100,906,066	91,908,366	8,997,700
未収会費	3,030,000	2,500,000	530,000
未収金	274,618	840,000	△ 565,382
たな卸資産	308,761	286,916	21,845
前払費用	2,257,981	2,153,101	104,880
流動資産合計	106,777,426	97,688,383	9,089,043
2. 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2)特定資産			
選挙積立預金	0	1,445,466	△ 1,445,466
退職給付引当資産	3,919,500	3,112,500	807,000
災害看護支援資産	718,438	1,486,251	△ 767,813
災害支援準備資金	0	3,500,000	△ 3,500,000
特定資産合計	4,637,938	9,544,217	△ 4,906,279
(3)その他固定資産			
什器備品	216,940	261,792	△ 44,852
一括償却資産	178,835	105,545	73,290
電話加入権	72,030	72,030	0
保証金	1,400,000	1,400,000	0
長期前払費用	0	105,000	△ 105,000
その他固定資産合計	1,867,805	1,944,367	△ 76,562
固定資産合計	6,505,743	11,488,584	△ 4,982,841
資産合計	113,283,169	109,176,967	4,106,202
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受会費	17,270,000	17,350,000	△ 80,000
未払費用	2,688,732	856,540	1,832,192
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	539,900	471,300	68,600
前受金	0	1,458,000	△ 1,458,000
預り金	124,381	112,870	11,511
仮受金	0	10,000	△ 10,000
流動負債合計	20,693,013	20,328,710	364,303
2. 固定負債			
退職給付引当金	3,919,500	3,112,500	807,000
固定負債合計	3,919,500	3,112,500	807,000
負債合計	24,612,513	23,441,210	1,171,303
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	72,926,624	72,926,624	0
2. 指定正味財産			
寄付金	718,438	1,486,251	△ 767,813
指定正味財産合計	718,438	1,486,251	△ 767,813
(うち特定資産への充当額)	(718,438)	(1,486,251)	(△ 767,813)
3. 一般正味財産			
(1)代替基金	0	0	0
(2)その他一般正味財産	15,025,594	11,322,882	3,702,712
一般正味財産合計	15,025,594	11,322,882	3,702,712
(うち特定資産への充当額)	(0)	(4,945,466)	(△ 4,945,466)
正味財産合計	88,670,656	85,735,757	2,934,899
負債及び正味財産合計	113,283,169	109,176,967	4,106,202

貸借対照表内訳表
平成 27年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会 計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	0	0	100,906,066	0	100,906,066
未収会費	0	0	3,030,000	0	3,030,000
未収金	274,618	0	0	0	274,618
たな卸資産	308,761	0	0	0	308,761
前払費用	1,715,000	0	542,981	0	2,257,981
他会計短期貸付金	0	0	22,724,305	△ 22,724,305	0
流動資産合計	2,298,379	0	127,203,352	△ 22,724,305	106,777,426
2. 固定資産					
(1)基本財産					
基本財産合計	0	0	0	0	0
(2)特定資産					
退職給付引当資産	0	0	3,919,500	0	3,919,500
災害看護支援資産	718,438	0	0	0	718,438
特定資産合計	718,438	0	3,919,500	0	4,637,938
(3)その他固定資産					
什器備品	79,599	3,507	133,834	0	216,940
一括償却資産	0	0	178,835	0	178,835
電話加入権	0	0	72,030	0	72,030
保証金	0	0	1,400,000	0	1,400,000
その他固定資産合計	79,599	3,507	1,784,699	0	1,867,805
固定資産合計	798,037	3,507	5,704,199	0	6,505,743
資産合計	3,096,416	3,507	132,907,551	△ 22,724,305	113,283,169
II 負債の部					
1. 流動負債					
前受会費	250,000	0	17,020,000	0	17,270,000
未払費用	2,469,658	0	219,074	0	2,688,732
未払法人税等	0	70,000	0	0	70,000
未払消費税等	0	0	539,900	0	539,900
預り金	0	0	124,381	0	124,381
他会計短期借入金	19,760,688	2,963,617	0	△ 22,724,305	0
流動負債合計	22,480,346	3,033,617	17,903,355	△ 22,724,305	20,693,013
2. 固定負債					
退職給付引当金	0	0	3,919,500	0	3,919,500
固定負債合計	0	0	3,919,500	0	3,919,500
負債合計	22,480,346	3,033,617	21,822,855	△ 22,724,305	24,612,513
III 正味財産の部					
1. 基金					
基金	0	0	72,926,624	0	72,926,624
2. 指定正味財産					
寄付金	718,438	0	0	0	718,438
指定正味財産合計 (うち特定資産への充当額)	718,438 (718,438)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	718,438 (718,438)
3. 一般正味財産					
(1)代替基金	0	0	0	0	0
(2)その他一般正味財産	△ 20,102,368	△ 3,030,110	38,158,072	0	15,025,594
一般正味財産合計	△ 20,102,368	△ 3,030,110	38,158,072	0	15,025,594
正味財産合計	△ 19,383,930	△ 3,030,110	111,084,696	0	88,670,656
負債及び正味財産合計	3,096,416	3,507	132,907,551	△ 22,724,305	113,283,169

正味財産増減計算書

平成 26年 4月 1日 から平成 27年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	888	676	212
受取会費			
正会員受取会費	80,360,000	76,150,000	4,210,000
賛助会員受取会費	300,000	300,000	0
受取会費計	80,660,000	76,450,000	4,210,000
事業収益			
学会誌収益	988,370	3,142,227	△ 2,153,857
学術集会収益	41,373,000	41,798,000	△ 425,000
広告販売収益	6,933,600	13,221,848	△ 6,288,248
事業収益計	49,294,970	58,162,075	△ 8,867,105
受取寄付金			
受取寄付金	144,000	2,009,000	△ 1,865,000
助成金収益	336,800	0	336,800
受取寄付金振替額	1,210,000	1,620,000	△ 410,000
受取寄付金計	1,690,800	3,629,000	△ 1,938,200
雑収益			
受取利息	4,189	5,102	△ 913
著作権料収益	373,600	310,856	62,744
セミナー収益	4,331,000	3,460,000	871,000
懇親会収益	586,000	806,000	△ 220,000
雑収益	0	7,076	△ 7,076
雑収益計	5,294,789	4,589,034	705,755
経常収益計	136,941,447	142,830,785	△ 5,889,338
(2) 経常費用			
事業費			
期首たな卸高	286,916	272,687	14,229
和文誌発行費	9,992,625	8,997,368	995,257
英文誌発行費	16,312,822	18,003,619	△ 1,690,797
期末たな卸高	△ 308,761	△ 286,916	△ 21,845
給料手当	6,034,139	5,609,230	424,909
臨時雇賃金	144,200	268,200	△ 124,000
賞与	412,422	398,817	13,605
退職給付費用	309,147	355,601	△ 46,454
福利厚生費	749,406	698,654	50,752
旅費交通費	3,098,072	3,759,953	△ 661,881
通信運搬費	3,112,696	3,029,623	83,073
減価償却費	17,182	22,949	△ 5,767
消耗品費	848,267	475,929	372,338
修繕費	59,991	58,324	1,667
印刷製本費	12,097,652	9,573,893	2,523,759
慶弔費	3,831	0	3,831
光熱水料費	308,819	276,478	32,341
賃借料	1,771,372	1,653,827	117,545
保険料	2,893	21,720	△ 18,827
諸謝金	1,488,000	1,206,500	281,500
租税公課	910,275	752,948	157,327
支払助成金	4,710,000	1,600,000	3,110,000
委託費	11,245,128	11,675,463	△ 430,335
会議費	1,195,151	1,072,471	122,680
表彰費	257,070	123,513	133,557
渉外費	30,000	0	30,000
会場費	23,551,845	20,454,095	3,097,750
通勤手当	666,755	575,701	91,054
雑費	1,420,396	1,717,626	△ 297,230
事業費計	100,728,311	92,368,273	8,360,038
管理費			
給料手当	9,497,968	9,033,108	464,860
賞与	664,166	642,255	21,911
臨時雇賃金	117,750	120,750	△ 3,000
退職給付費用	497,853	572,660	△ 74,807
福利厚生費	1,206,842	1,125,114	81,728
会議費	4,235,316	5,035,492	△ 800,176
渉外費	10,789	10,290	499
旅費交通費	848,440	451,690	396,750

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
通信運搬費	2,691,023	1,340,963	1,350,060
減価償却費	169,344	260,704	△ 91,360
通勤手当	1,052,835	927,109	125,726
消耗品費	390,356	543,098	△ 152,742
修繕費	96,609	93,926	2,683
印刷製本費	351,904	96,102	255,802
慶弔費	6,169	0	6,169
光熱水料費	497,323	445,241	52,082
賃借料	2,852,621	2,663,325	189,296
保険料	4,657	4,784	△ 127
諸謝金	0	211,603	△ 211,603
租税公課	22,398	22,049	349
支払負担金	150,000	280,000	△ 130,000
委託費	3,569,320	3,092,627	476,693
資格喪失者会費	1,650,000	970,000	680,000
懇親会費	961,514	875,080	86,434
雑費	895,227	877,660	17,567
管理費計	32,440,424	29,695,630	2,744,794
経常費用計	133,168,735	122,063,903	11,104,832
評価損益等調整前当期経常増減額	3,772,712	20,766,882	△ 16,994,170
当期経常増減額	3,772,712	20,766,882	△ 16,994,170
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
その他の経常外収益			
前期たな卸し高修正益	0	79,119	△ 79,119
経常外収益計	0	79,119	△ 79,119
(2) 経常外費用			
固定資産除却損失			
什器備品除却損	0	151	△ 151
経常外費用計	0	151	△ 151
当期経常外増減額	0	78,968	△ 78,968
税引前当期一般正味財産増減額	3,772,712	20,845,850	△ 17,073,138
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	3,702,712	20,775,850	△ 17,073,138
一般正味財産期首残高	11,322,882	△ 9,452,968	20,775,850
一般正味財産期末残高	15,025,594	11,322,882	3,702,712
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金			
受取寄付金	442,048	1,000,150	△ 558,102
特定資産受取利息	139	144	△ 5
受取寄付金計	442,187	1,000,294	△ 558,107
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 1,210,000	△ 1,620,000	410,000
当期指定正味財産増減額	△ 767,813	△ 619,706	△ 148,107
指定正味財産期首残高	1,486,251	2,105,957	△ 619,706
指定正味財産期末残高	718,438	1,486,251	△ 767,813
III 基金増減の部			
基金受入額	0	0	0
基金返還額	0	0	0
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	72,926,624	72,926,624	0
基金期末残高	72,926,624	72,926,624	0
IV 正味財産期末残高	88,670,656	85,735,757	2,934,899

科 目	公益目的事業会計							収益事業等会計			法人会計	合計
	学術振興	学会誌	学術集会	市民講座等	災害看護支援	共通	小計	広告販売事業	連携事業	小計		
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
特定資産運用益												
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	888	888
受取会費												
正会員受取会費	0	0	0	0	0	40,180,000	40,180,000	0	0	0	40,180,000	80,360,000
賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	300,000	300,000	0	0	0	0	300,000
受取会費計	0	0	0	0	0	40,480,000	40,480,000	0	0	0	40,180,000	80,660,000
事業収益												
学会誌収益	0	988,370	0	0	0	0	988,370	0	0	0	0	988,370
学術集会収益	0	0	41,373,000	0	0	0	41,373,000	0	0	0	0	41,373,000
広告販売収益	0	0	0	0	0	0	0	6,933,600	0	6,933,600	0	6,933,600
事業収益計	0	988,370	41,373,000	0	0	0	42,361,370	6,933,600	0	6,933,600	0	49,294,970
受取寄付金												
受取寄付金	0	24,000	120,000	0	0	0	144,000	0	0	0	0	144,000
助成金収益	0	0	336,800	0	0	0	336,800	0	0	0	0	336,800
受取寄付金振替額	0	0	0	0	1,210,000	0	1,210,000	0	0	0	0	1,210,000
受取寄付金計	0	24,000	456,800	0	1,210,000	0	1,690,800	0	0	0	0	1,690,800
雑収益												
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,189	4,189
著作権料収益	0	373,600	0	0	0	0	373,600	0	0	0	0	373,600
セミナー収益	2,968,000	1,363,000	0	0	0	0	4,331,000	0	0	0	0	4,331,000
懇親会収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	586,000	586,000
雑収益計	2,968,000	1,736,600	0	0	0	0	4,704,600	0	0	0	590,189	5,294,789
経常収益計	2,968,000	2,748,970	41,829,800	0	1,210,000	40,480,000	89,236,770	6,933,600	0	6,933,600	40,771,077	136,941,447
(2) 経常費用												
事業費												
期首たな卸高	0	286,916	0	0	0	0	286,916	0	0	0	0	286,916
和文誌発行費	0	9,992,625	0	0	0	0	9,992,625	0	0	0	0	9,992,625
英文誌発行費	0	16,312,822	0	0	0	0	16,312,822	0	0	0	0	16,312,822
期末たな卸高	0	△ 308,761	0	0	0	0	△ 308,761	0	0	0	0	△ 308,761
給料手当	2,893,734	1,277,730	1,472,944	138,465	0	0	5,782,873	93,522	157,744	251,266	0	6,034,139
臨時雇賃金	136,500	0	4,913	2,700	0	0	144,113	87	0	87	0	144,200
賞与	202,350	89,348	93,638	9,682	0	0	395,018	6,373	11,031	17,404	0	412,422
退職給付費用	151,680	66,974	70,190	7,258	0	0	296,102	4,777	8,268	13,045	0	309,147
福利厚生費	367,687	162,353	170,147	17,594	0	0	717,781	11,581	20,044	31,625	0	749,406
旅費交通費	1,490,950	682,901	775,388	128,900	0	0	3,078,139	15,627	4,306	19,933	0	3,098,072
通信運搬費	517,006	184,390	2,292,642	45,406	0	0	3,039,444	50,488	22,764	73,252	0	3,112,696
減価償却費	8,430	3,723	3,901	403	0	0	16,457	266	459	725	0	17,182
消耗品費	136,609	54,379	585,094	52,529	0	0	828,611	13,173	6,483	19,656	0	848,267
修繕費	29,434	12,997	13,620	1,408	0	0	57,459	927	1,605	2,532	0	59,991
印刷製本費	418,208	147,194	11,182,471	142,573	0	0	11,890,446	201,362	5,844	207,206	0	12,097,652
慶弔費	1,880	830	870	90	0	0	3,670	59	102	161	0	3,831
光熱水料費	151,519	66,903	70,115	7,250	0	0	295,787	4,772	8,260	13,032	0	308,819
賃借料	869,104	383,754	402,178	41,586	0	0	1,696,622	27,373	47,377	74,750	0	1,771,372
保険料	1,419	627	657	68	0	0	2,771	45	77	122	0	2,893
諸謝金	341,021	590,129	467,754	89,096	0	0	1,488,000	0	0	0	0	1,488,000
租税公課	108,009	99,165	450,779	0	0	0	657,953	252,322	0	252,322	0	910,275
支払助成金	0	0	0	0	4,710,000	0	4,710,000	0	0	0	0	4,710,000
委託費	1,626,814	977,069	8,470,255	106,890	0	0	11,181,028	23,473	40,627	64,100	0	11,245,128
会議費	105,399	98,865	937,581	36,632	0	0	1,178,477	16,674	0	16,674	0	1,195,151
表彰費	0	257,070	0	0	0	0	257,070	0	0	0	0	257,070
渉外費	0	0	29,476	0	0	0	29,476	524	0	524	0	30,000
会場費	877,632	247,120	21,965,147	71,321	0	0	23,161,220	390,625	0	390,625	0	23,551,845
通勤手当	320,767	141,635	161,415	15,349	0	0	639,166	10,103	17,486	27,589	0	666,755
雑費	272,748	143,373	928,498	38,051	0	0	1,382,670	22,858	14,868	37,726	0	1,420,396
事業費計	11,028,900	31,972,131	50,549,673	953,251	4,710,000	0	99,213,955	1,147,011	367,345	1,514,356	0	100,728,311

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1)当法人は、公益法人会計基準（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2)たな卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による原価法によっている。

(3)固定資産の減価償却の方法
法人税法の規定に基づき次のとおりの償却方法を採用している。
①什器備品・・・・・・定率法によっている。
②一括償却資産・・・・・・3年間にわたる定額法によっている。

(4)引当金の計上基準
退職給付引当金・・・・・・当期末退職給与の自己都合要支給額に相当する額を計上している。

(5)消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
選挙積立預金	1,445,466	1,500,271	2,945,737	0
退職給付引当資産	3,112,500	807,000	0	3,919,500
災害看護支援資産	1,486,251	885,099	1,652,912	718,438
災害支援準備資金	3,500,000	0	3,500,000	0
小 計	9,544,217	3,192,370	8,098,649	4,637,938
合 計	9,544,217	3,192,370	8,098,649	4,637,938

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち基金からの充 当額)	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
特定資産					
退職給付引当資産	3,919,500	(0)	(0)	(0)	(3,919,500)
災害看護支援資産	718,438	(0)	(718,438)	(0)	(0)
小 計	4,637,938	(0)	(718,438)	(0)	(3,919,500)
合 計	4,637,938	(0)	(718,438)	(0)	(3,919,500)

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容		金 額
北宮 千秋	被災者の長期避難を伴う自治体職員への健康相談とリスクコミュニケーション	610,000
大野 かおり	兵庫県立大学・宮城大学看護東北プロジェクト 気仙沼市鹿折地区仮設住宅住民のセルフケア行動推進および健康ハイリスク住民への看護支援方策の検討	600,000
合計		1,210,000

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	3,191,396	2,974,456	216,940
一括償却資産	425,020	246,185	178,835

法 人 名：公益社団法人 日本看護科学学会

附 属 明 細 書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	選挙積立預金	1,445,466	1,500,271	2,945,737	0
	退職給付引当資産	3,112,500	807,000	0	3,919,500
	災害看護支援資産	1,486,251	885,099	1,652,912	718,438
	災害支援準備資金	3,500,000	0	3,500,000	0
	特定資産計	9,544,217	3,192,370	8,098,649	4,637,938
その他固定資産	什器備品	261,792	0	44,852	216,940
	一括償却資産	105,545	302,874	229,584	178,835
	電話加入権	72,030	0	0	72,030
	保証金	1,400,000	0	0	1,400,000
	他会計長期貸付金	0	353,102	353,102	0
	長期前払費用	105,000	0	105,000	0
	その他固定資産計	1,944,367	655,976	732,538	1,867,805

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	3,112,500	807,000	0	0	3,919,500

財産目録
平成 27年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元現金 学術集会用小口現金	運転資金として 運転資金として	96,457 57,864
預金	普通預金 みずほ銀行本郷支店 三菱東京UFJ銀行 本郷支店 三菱東京UFJ銀行 本郷支店 ゆうちょ銀行 ゆうちょ銀行 広島銀行 廿日市ニュータウン支店	運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として	76,484,543 11,194,767 7,303,763 3,143,452 2,241,000 384,220
未収会費	平成26年度会費303名分	会員会費未収金	3,030,000
未収金	(株)国際文献社 (株)メテオ	学会誌・講演集販売代金の未収金H26.4～9月追加分及びH26.10～H27.3月分 著作権料H26.4～27.3月分及び包括利用の各著作権使用料	261,540 13,078
たな卸資産	学会誌・学術講演集在庫	学会誌及び学術講演集	308,761
前払費用	(有)プライムアソシエイツ ウィリアム・ルイス・ホルツマー (株)損害保険ジャパン (有)富士見ビル(フジミビル) 弥生(株) 春日土地(株) 事務所賃借更新料 H27.4.1～H27.12.31 ニューロネット(株) AIU損害保険(株)	JJNS編集事務費H27.4.1～H27.12.31 JJNS編集長報酬H27.4～6月分 火災保険料H27.4月分 事務所賃借料H27.4月分 年間サーバ更新料H27.4～H28.3月分 管理業務の用に供している。 SaasBoard Room9Liteコース月額利用料 H27.4月分 個人情報漏洩保険 H27.4.1～H28.3.31	1,215,000 500,000 921 288,000 43,200 105,000 29,360 76,500
流動資産合計			106,777,426
(固定資産)			
特定資産			
退職給付引当資産	普通預金 三菱東京UFJ銀行本郷支店	退職金の引当資産である。	3,919,500
災害看護支援資産	普通預金 三菱東京UFJ銀行本郷支店	指定正味財産を財源とする財産であり、災害看護支援事業のために寄付を受けている。	718,438
その他固定資産			
什器備品	東京都文京区本郷3-37-3 オカムラ両開き書庫他5点	共用財産であり、公益目的事業の用に36.7%、収益事業の用に1.6%、管理業務の用に61.7%供している。公益目的事業の用に供している部分は、公益目的保有財産である。	216,940
一括償却資産	東京都文京区本郷3-37-3	管理業務の用に供している。	178,835
電話加入権	東京都文京区本郷3-37-3	管理業務の用に供している。	72,030
保証金	東京都文京区本郷3-37-3	管理業務の用に供している。	1,400,000
固定資産合計			6,505,743
資産合計			113,283,169

(流動負債)				
	前受会費	平成27～29年度会費 他	平成27年度正会員10,000円×1,698名 平成28年度正会員10,000円×3名 平成29年度正会員10,000円×1名 平成26年度賛助会員 50,000円×5口	17,270,000
	未払費用	日本郵便(株) 和文誌34巻 7,982冊他 案内パンフレット 7,982件 参加費領収書郵送料他 投票用紙郵送料他 (株)升本フーズ 看護倫理検討委員会委員 (株)日本旅行 (株)正文社 (有)プライムアソシエイツ 厚生労働省年金局	学会誌事業で使用した郵送料である。 第35回学術集会事業の郵送料である。 学術振興事業(第5回JANSセミナー)で使用した郵送料である。 管理業務である役員選挙及び口座振替手数料である。 学術振興事業の委員会飲食費である。 学術振興事業の委員交通費である。 学術集会運営委託H26.12～H27.3月 12期 看護学学術用語検討委員会報告書 管理業務である役員選挙に係る翻訳料 (WEB選挙手順書、WEB投票要領) 社会保険料(H27.3月分)	823,122 558,040 55,846 50,774 9,800 89,684 841,474 91,692 32,400 135,900
	未払法人税等	東京都千代田都税事務所	平成26年度法人住民税	70,000
	未払消費税等	本郷税務署	平成26年度消費税及び地方消費税	539,900
	預り金	事務所員 中村コンサルティングオフィス、他2名	給与源泉税・住民税 報酬源泉税	82,729 41,652
	流動負債合計			20,693,013
(固定負債)	退職給付引当金	事務所員8名分	平成27年3月末日要支給額	3,919,500
	固定負債合計			3,919,500
	負債合計			24,612,513
	正味財産			88,670,656

科 目	備考	平成26年度 予算額	平成26年度 決算額	差異
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入		1,000	888	112
特定資産受取利息収入		1,000	888	112
②会費収入		79,800,000	80,660,000	△ 860,000
正会員会費収入	※1	79,500,000	80,360,000	△ 860,000
賛助会員会費収入	※2	300,000	300,000	0
③学会誌収入(講演集含む)	※3	2,150,000	988,370	1,161,630
④寄付金収入(学術集会分含まず)		1,000,000	466,187	533,813
災害看護支援事業への寄付金	※4	1,000,000	442,187	557,813
著作権啓蒙への寄付金		0	24,000	△ 24,000
⑤雑収入		4,403,000	4,708,789	△ 305,789
受取利息収入		3,000	4,189	△ 1,189
著作権料収入		100,000	373,600	△ 273,600
セミナー収益		4,300,000	4,331,000	△ 31,000
JANSセミナー		3,000,000	2,949,000	51,000
JJNSセミナー		1,300,000	1,363,000	△ 63,000
グローバルセミナー		0	19,000	△ 19,000
⑥学術集会収入	※5	41,064,800	49,349,400	△ 8,284,600
学術集会参加費収入		32,350,000	41,373,000	△ 9,023,000
事前登録会員(1万円)		13,000,000	17,910,000	△ 4,910,000
事前登録非会員(1.2万円)		5,400,000	5,772,000	△ 372,000
事前登録学部生(0.3万円)		150,000	462,000	△ 312,000
当日登録会員(1.2万円)		9,600,000	11,076,000	△ 1,476,000
当日登録非会員(1.4万円)		4,200,000	6,006,000	△ 1,806,000
当日登録学部生(0.3万円)		0	147,000	△ 147,000
寄付金・助成金収入		350,000	456,800	△ 106,800
寄付金収入		350,000	120,000	230,000
助成金収入		0	336,800	△ 336,800
広告販売収入		7,624,800	6,933,600	691,200
企業展示出展料		3,412,800	5,389,200	△ 1,976,400
広告掲載料		2,484,000	680,400	1,803,600
スポンサードセミナー		1,728,000	864,000	864,000
懇親会収入		640,000	586,000	54,000
雑収入		100,000	0	100,000
事業活動収入合計(I a)		128,418,800	136,173,634	△ 7,754,834
2. 事業活動支出				
①事業費支出		81,165,400	87,313,732	△ 6,148,332
学会誌発行費支出		22,910,000	26,305,447	△ 3,395,447
和文誌編集・印刷費支出	※6	7,200,000	8,733,407	△ 1,533,407
和文誌発送費支出	※7	1,830,000	1,259,218	570,782
英文誌編集・印刷費支出	※8	13,880,000	16,312,822	△ 2,432,822
編集活動費支出		3,113,000	2,345,628	767,372
和文誌編集委員会費支出	※9	580,000	19,412	560,588
英文誌編集委員会費支出		2,533,000	2,326,216	206,784
看護学術振興費支出		5,084,100	6,822,096	△ 1,737,996
研究・学術情報委員会費支出		453,100	199,613	253,487
国際活動推進委員会費支出		800,000	365,191	434,809
看護学学術用語検討委員会費支出		854,000	925,357	△ 71,357
看護倫理検討委員会費支出		780,000	515,570	264,430
表彰論文選考委員会費支出		220,000	11,165	208,835
災害看護支援事業委員会費支出		172,000	20,040	151,960
学術振興事業検討委員会費支出		305,000	75,160	229,840
災害看護支援事業助成金支出		1,500,000	1,210,000	290,000
災害支援準備資金助成金支出	※10	0	3,500,000	△ 3,500,000
研究学術活動費支出		2,240,000	2,338,282	△ 98,282
受賞論文表彰費支出	※11	170,000	257,070	△ 87,070
研究倫理審査委員会費支出		120,000	0	120,000
セミナー等開催費支出	※12	1,950,000	2,081,212	△ 131,212
社会的活動費支出		929,000	401,527	527,473
社会貢献委員会費支出	※13	929,000	401,527	527,473
総務費支出		1,147,000	693,208	453,792
総務委員会費支出		400,000	148,120	251,880
広報委員会費支出		747,000	545,088	201,912

科 目	備考	平成26年度 予算額	平成26年度 決算額	差異
学術集会費支出		45,742,300	48,407,544	△ 2,665,244
当年度開催学術集会		43,242,300	45,117,604	△ 1,875,304
会場費支出	※14	20,796,000	22,204,397	△ 1,408,397
会議費支出		735,000	797,847	△ 62,847
旅費交通費支出		1,400,000	584,320	815,680
消耗品費支出		452,000	453,930	△ 1,930
通信運搬費支出 (プログラム送料含む)		1,603,500	1,142,576	460,924
印刷製本費支出 (プログラム印刷含む)	※15	8,405,500	10,857,803	△ 2,452,303
委託費支出		6,880,300	7,391,743	△ 511,443
人件費支出		0	0	0
諸謝金支出		600,000	467,754	132,246
賃借料支出		0	0	0
渉外費支出		140,000	30,000	110,000
雑費支出	※16	1,270,000	225,720	1,044,280
懇親会運営費支出		960,000	961,514	△ 1,514
次年度開催学術集会 (準備期間)		2,500,000	3,289,940	△ 789,940
会場費支出		0	151,375	△ 151,375
会議費支出		50,000	156,408	△ 106,408
旅費交通費支出		500,000	180,630	319,370
消耗品費支出		10,000	84,603	△ 74,603
通信運搬費支出 (パンフレット送料含む)		770,000	994,158	△ 224,158
印刷製本費支出 (パンフレット印刷含む)		1,010,000	473,040	536,960
委託費支出		160,000	517,644	△ 357,644
人件費支出		0	141,250	△ 141,250
諸謝金支出		0	0	0
賃借料支出		0	0	0
渉外費支出		0	0	0
雑費支出	※17	0	590,832	△ 590,832
懇親会運営費支出		0	0	0
②管理費支出		45,412,000	44,343,422	1,068,578
給料手当支出		16,530,000	16,472,445	57,555
通勤費支出		2,440,000	1,706,610	733,390
福利厚生費支出		1,932,000	1,956,248	△ 24,248
退職給付支出		300,000	0	300,000
会議費支出 (学会総会費)		200,000	268,555	△ 68,555
会議費支出 (社員総会費)		2,880,000	2,356,690	523,310
会議費支出 (理事会費)		2,360,000	1,564,848	795,152
委託費支出		4,100,000	3,908,425	191,575
渉外費支出		30,000	10,789	19,211
旅費交通費支出		280,000	420,314	△ 140,314
通信運搬費支出		2,132,000	2,221,787	△ 89,787
消耗品費支出		1,090,000	632,752	457,248
印刷製本費支出		86,000	121,942	△ 35,942
慶弔費支出		50,000	10,000	40,000
光熱水料費支出		660,000	806,142	△ 146,142
賃借料支出		4,580,000	4,623,993	△ 43,993
保険料支出		8,000	7,550	450
諸謝金支出		50,000	0	50,000
租税公課支出	※18	570,000	392,773	177,227
負担金支出		150,000	150,000	0
修繕費支出	※19	50,000	156,600	△ 106,600
選挙費用支出	※20	2,670,000	3,464,561	△ 794,561
資格喪失者会費支出	※21	1,000,000	1,650,000	△ 650,000
雑費支出		1,264,000	1,440,398	△ 176,398
事業活動支出合計 (I b)		126,577,400	131,657,154	△ 5,079,754
事業活動収支差額 (I a)-(I b)		1,841,400	4,516,480	△ 2,675,080

科 目	備考	平成26年度 予算額	平成26年度 決算額	差異
II 投資活動収支の部（資金の内部移動）				
1. 投資活動収入（各積立金を取り崩し、それを資金として使用する）				
選挙積立取崩（選挙費用として使用）		2,670,000	2,945,737	△ 275,737
退職給付引当資産取崩		300,000	0	300,000
災害看護支援資産取崩（災害看護支援助成金へ）		1,500,000	1,210,000	290,000
災害支援準備資金取崩収入	※22	0	3,500,000	△ 3,500,000
長期前払費用振替収入（事務所更新料）		105,000	105,000	0
投資活動収入合計（II a）		4,575,000	7,760,737	△ 3,185,737
2. 投資活動支出（目的のある積立をするために、事業活動の資金を各積立預金に振り替える）				
選挙積立預金		1,500,000	1,500,271	△ 271
退職給付引当金積立		600,000	807,000	△ 207,000
災害看護支援資産事業積立		1,000,000	442,187	557,813
什器備品購入支出		100,000	0	100,000
一括償却資産購入支出		0	214,964	△ 214,964
事務所更新料（長期前払費用）		0	0	0
投資活動支出合計（II b）		3,200,000	2,964,422	235,578
投資活動収支差額（II a）-（II b）		1,375,000	4,796,315	△ 3,421,315
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入合計（III a）		0	0	0
2. 財務活動支出				
財務活動支出合計（III b）		0	0	0
財務活動収支差額（III a）-（III b）		0	0	0
IV 予備費支出				
		3,000,000	0	3,000,000
当期収支差額		216,400	9,312,795	
前期繰越収支差額		55,929,290	77,072,757	
次期繰越収支差額		56,145,690	86,385,552	

- ※1 平成26年4月1日現在の会員登録数（請求人数7184名）、平成26年度中の新入会・再入会者が852名。
- ※2 (株)日本看護協会出版会2口、(株)医学書院・(株)南江堂・(株)へるす出版・ニューヴェルヒロカワ各1口。
- ※3 販売部数が予算を大幅に下回った。
- ※4 災害寄付金(442,048円)+利息(139円)
- ※5 参加人数が予算を大幅に上回った。(2900名)⇒(3827名)
- ※6 会員の増加が見込みを超えたため印刷部数が増加し予算を上回った。
- ※7 会誌(34巻)の重量が見込みより軽くなったため送料が予算を下回った。
- ※8 編集事務費の超過分を20編と見込んでいたところ、230編あったため予算より210編超過した。
- ※9 メール会議やWeb会議システムの利用により、交通費支出が抑えられたため予算を下回った。
- ※10 平成25年度の災害支援準備資金積立金より支出
- ※11 表彰状ホルダーを追加購入のため超過した。
- ※12 第5回JANSセミナーでWEB受講をおこなったため、委託費（収録、編集、配信）が予算を上回った。
- ※13 市民フォーラム、ナーシング・サイエンス・カフェなどの会場費が予算を下回った。
- ※14 交流集会、演題の増加により会場設備等が増加したため予算を上回った。
- ※15 事前参加登録者が想定人数を上回り、講演集、プログラム集の印刷部数を増やしたため予算を上回った。
- ※16 コングレスバッグ（4000枚）を企業より寄付されたため予算を下回った。
- ※17 コングレスバッグの製作準備のため素材を事前購入した。
- ※18 収益事業（学会誌販売収入、著作権収入、学術集に伴う広告販売収入）に関わる法人税および法人事業税は0円、法人住民税7万円（均等割のみ）
消費税課税売上高（学術集会非会員参加費収入、広告販売収入、学会誌販売収入など）から簡易課税方式にて計算した消費税931,600円のうち中間納付済み額391,700円（確定納付額539,900円は未納）
印紙税1,050円、利子源泉税23円
- ※19 購入後4年を経過したため印刷機の年間保守契約を結んだ。
- ※20 Web選挙システム導入時の初期費用ならびに投票要領等の会員送付費用を見込んでいなかったため、予算を上回った。
- ※21 平成25年4月1日付の資格喪失者のうち、平成26年3月31日までに未納会費を納入し再入会したものの以外は損失分として支出に計上される。
- ※22 平成25年度に積立をした災害支援準備資金積立金を取崩して災害支援事業助成金として使用した。

災害看護支援事業収支報告書（平成26年度）

平成27年3月31日 現在

（単位：円）

項 目		金 額	
前年度より繰越 計		4,986,251	
繰越内訳	災害看護支援資産 ※1	1,486,251	
	災害支援準備資金 ※2	3,500,000	
収入合計		442,187	
①災害看護支援寄附金収入		442,048	
《内訳》	団体 【詳細は下記】	2件	250,000
	個人	2名	156,830
	募金（第34回学術集会開催時）		35,218
②預金利息		139	
支出合計 【詳細は別紙】		8件	4,710,000
《内訳》	災害看護支援事業助成金支出		1,210,000
	災害支援準備資金助成金支出		3,500,000
単年度残高		(4,267,813)	
災害看護支援口（積立金）口座残高（平成27年3月31日現在） ※3		718,438	
《内訳》	三菱東京UFJ銀行		718,438
	ゆうちょ銀行		0

※1 災害看護支援資産 災害看護支援事業のための寄付金が財源となっている。

※2 災害支援準備資金 平成26年度の災害支援助成に充てるために日本看護科学学会が積立てた特定資産である。

※3 「特定資産」として一般正味財産とは別途の財産管理（法人化以前の「特別会計」と同様の扱い）をしている。

《寄付金収入 団体名》

納入日	団体名	金額
平成26年7月7日	日本精神保健看護学会	200,000
平成26年10月15日	高知女子大学看護学会	50,000

平成26(2014)年度

《助成支援 事業名》

	代表者名	事業名	助成金額
1	塚本 都子	通所施設利用者と介護家族の地震に対する意識と対策の現状を踏まえた、施設が実現すべき当事者主体の地域共助力推進に関する統合的協働型検討会	290,000
2	北宮 千秋	被災者の長期避難を伴う自治体職員への健康相談とリスクコミュニケーション	610,000
3	内海 奈緒子	東日本大震災被災地の仮設住宅地区における高齢住民に対する健康支援プログラムの長期的効果に関する介入研究	570,000
4	佐々木 久美子	宮城大学看護学生・教職員による南三陸町に在住する高齢者への健康支援活動の充実強化	620,000
5	川島 みどり	「在宅におけるケアの有用性を高める」ための人材育成の取り組み	1,000,000
6	青木 菫子	応急仮設住宅生活が長期化する福島原発事故避難者の健康支援事業	360,000
7	大野 かおり	兵庫県立大学・宮城大学看護東北プロジェクト 気仙沼市鹿折地区仮設住宅住民のセルフケア行動推進および健康ハイリスク住民への看護支援方策の検討	880,000
8	尾山 とし子	これから始まる復興と絆、コミュニティ再建のための長期支援 Part2 ～はまってけらいん(集まって) かだってけらいん(語って) を合言葉に～	380,000
			8 件
			4,710,000

公益社団法人 日本看護科学学会 平成 28 年度事業計画

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

1. 第 36 回日本看護科学学会学術集会開催

日時：平成 28 年 12 月 10 日（土）・11 日（日）

場所：東京国際フォーラム

学術集会会長：岡谷 恵子（東京医科大学）

2. 第 37 回日本看護科学学会学術集会準備

日時：未定（平成 29 年）

場所：未定

学術集会会長：吉沢 豊予子（東北大学）

3. 第 38 回日本看護科学学会学術集会準備

日時：未定（平成 30 年）

場所：未定

学術集会会長：佐伯 由香（愛媛大学）

4. 和文誌の発行

【和文誌編集委員会】

- ・ 日本看護科学学会誌第 36 巻を発行する。
- ・ 新査読ガイドラインに則り、査読システムの効果的運用と質向上をはかる。
- ・ 学会誌への投稿を促進し、原著論文・総説の増加を図る。
- ・ 和文誌編集委員、査読者の活動を支援する教育プログラム（セミナー、交流集会）を開催する。

5. 英文誌の発行

【英文誌編集委員会】

- ・ Japan Journal of Nursing Science Vol. 13 を発行する。
- ・ JJNS セミナーを開催する。
- ・ JJNS プロモーション活動を実施する。
- ・ 若手研究者の支援活動をする。

6. 看護学学術振興対策

1) 看護学学術用語の検討

【看護学学術用語検討委員会】

- ・ 看護学学術用語・看護行為用語に関する Web 調査を実施する。
- ・ 看護学領域の学術的発展：現状と課題（The State of the Art）に向けた検討をする。

2) 国際活動の推進（世界看護科学学会を含む）

【国際活動推進委員会】

- ・ 世界看護科学学会（WANS）事務局業務を行う（HP 維持管理含む）。
- ・ 看護学のグローバルスタンダードの検討をする。
- ・ JANS ホームページ内の異文化看護データベースの更新をする。

3) 看護倫理の検討と啓発

【看護倫理検討委員会】

- ・ 研究倫理指針等の改正に伴う研究活動実態調査の実施および報告をする。
- ・ 看護学が関連する倫理的社会事象に対する情報収集と対応案を検討する。

【利益相反委員会】

- ・ 役員、委員会委員、和文誌・英文誌投稿者、学術集会における発表者を対象に COI を実施し、評価を行う。
- ・ 利益相反における問題が生じた折の対処をする。

【研究倫理審査委員会】

- ・ 倫理審査(申請があり次第、メール審査、委員会招集審査のいずれか)を行う。
- ・ その他、研究倫理審査に関わる事項の検討をする。

4) 研究成果の蓄積と活用

【研究・学術情報委員会】

- ・ 看護における優先研究課題設定を目的とした情報収集体制の整備を行う。
- ・ 会員、一般社会、学術団体、行政それぞれに向けた情報発信体制の整備を行う。
- ・ JANS セミナーを開催する。

7. 学術研究論文の表彰

【表彰論文選考委員会】

- ・ 表彰論文の選考を行い公表する。

8. 学会組織の強化・発展

1) 若手研究推進委員会の活動の推進

【若手研究推進委員会】

- ・ 学術集会の交流集会を定例的に企画運営し、若手の研究活動推進に努める。
- ・ 国内外の多様な学問分野における若手研究者との積極的な交流を図る。
- ・ 「若手の会」専用の HP の管理・更新を通して、活動を公表、周知、意見交換やニーズ把握をする。
- ・ 各地域で「若手の会」の活動を牽引する「エリア・コーディネーター」を育成し、若手研究者が各地域で活躍できる基盤をつくる。
- ・ メーリングリストを介して、情報交換や相互交流を促進する。
- ・ 若手研究者向けの研修ニーズをもとに、研修を開催する。

2) 事務所体制の整備

【総務委員会】

- ・ 本会の目的を達成し、持続可能な事務所職員体制を確立するために、職員の評価・査定制度を導入し、職員体制を整備する。

9. 社会貢献活動

【社会貢献委員会】

- ・ 第36回学術集会に向けた社会貢献事業を検討し準備する。
- ・ 第36回学術集会での「市民フォーラム」および「ナーシング・サイエンス・カフェを開催する。
- ・ JANS としての社会貢献のあり方を検討する。

10. 広報活動

【広報委員会】

- ・ 学会広報媒体の作成・維持・管理(①HPの維持・管理②他委員会との連携による学会活動の広報学会活動やイベント学術集会の記録④学会広報媒体の評価と改善)を行う。
- ・ WANSに関連した広報(①WANS学術集会の広報 ②WANS学術集会におけるJANSの広報)を行う。
- ・ 学術集会に関する広報活動(次回学術集会企画委員会、社会貢献委員会との連携による学術集会の広報活動)を行う。

11. 他機関との連携活動

- ① 日本看護系学会協議会
- ② 看護系学会等社会保険連合
- ③ 日本学術会議
- ④ その他の機関

12. 理事候補者選挙

【選挙管理委員会】

- ・ Web投票システムを利用した理事候補者選挙を行う。

平成28年度 収支予算書
平成28年4月1日 から平成 29年 3月 31日 まで

科 目	備考	平成28年度 予算額 (H. 28. 4. 1～ H. 29. 3. 31)	平成27年度 予算額 (H. 27. 4. 1～ H. 28. 3. 31)	差異
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入		1,000	1,000	0
特定資産受取利息収入		1,000	1,000	0
②会費収入		88,800,000	85,700,000	3,100,000
正会員会費収入	※1	88,500,000	85,400,000	3,100,000
賛助会員会費収入	※2	300,000	300,000	0
③学会誌収入（講演集含む）		480,000	340,000	140,000
④寄附金収入（学術集会含まず）		0	500,000	△ 500,000
災害看護支援寄附金収入	※3	0	500,000	△ 500,000
その他の寄附金収入		0	0	0
⑤雑収入		4,525,000	4,403,000	122,000
受取利息収入		3,000	3,000	0
著作権料収入		200,000	100,000	100,000
セミナー収入	※4	4,322,000	4,300,000	22,000
その他雑収入		0	0	0
④学術集会収入		53,758,000	40,128,600	13,629,400
学術集会参加費収入		41,400,000	31,550,000	9,850,000
事前登録会員（10,000円）		15,000,000	14,000,000	1,000,000
事前登録非会員（12,000円税込）		5,400,000	3,600,000	1,800,000
事前登録学部生（3,000円）		150,000	600,000	△ 450,000
当日登録会員（12,000円）	※5	14,400,000	8,400,000	6,000,000
当日登録非会員（14,000円税込）		6,300,000	4,200,000	2,100,000
当日登録学部生（3,000円）		150,000	750,000	△ 600,000
寄附金・助成金収入		1,000,000	550,000	450,000
広告販売収入		10,358,000	7,388,600	2,969,400
企業展示出展料		4,806,000	2,692,000	2,114,000
広告掲載料		2,549,000	3,271,000	△ 722,000
スポンサーードセミナー		3,003,000	1,425,600	1,577,400
懇親会収入		950,000	640,000	310,000
雑収入		50,000	0	50,000
事業活動収入合計（I a）		147,564,000	131,072,600	16,491,400
2. 事業活動支出				
①事業費支出		89,743,000	79,307,020	10,435,980
学会誌発行費支出		19,212,000	18,270,000	942,000
和文誌編集費支出	※6	3,300,000	3,770,000	△ 470,000
英文誌編集費支出	※7	15,912,000	14,500,000	1,412,000
編集活動費支出		2,075,000	3,613,000	△ 1,538,000
和文誌編集委員会費支出		830,000	830,000	0
英文誌編集委員会費支出	※8	1,245,000	2,783,000	△ 1,538,000
看護学術振興費支出		4,256,000	6,221,000	△ 1,965,000
研究・学術情報委員会費支出	※9	960,000	422,000	538,000
国際活動推進委員会費支出	※10	680,000	2,295,000	△ 1,615,000
看護学学術用語検討委員会費支出		1,186,000	1,134,000	52,000
看護倫理検討委員会費支出		600,000	500,000	100,000
表彰論文選考委員会費支出		220,000	220,000	0
若手研究推進委員会支出		610,000	500,000	110,000
災害看護支援事業専門委員会支出	※11	0	150,000	△ 150,000
災害看護支援助成金支出		0	1,000,000	△ 1,000,000
研究学術活動費支出		5,078,000	3,420,000	1,658,000
受賞論文表彰費支出		180,000	180,000	0
研究倫理審査委員会費		120,000	120,000	0
利益相反委員会	※12	456,000	0	456,000
JANSセミナー開催費	※13	2,677,000	3,120,000	△ 443,000
JJNSセミナー開催費	※8	1,645,000	0	1,645,000
社会的活動費支出		868,000	745,000	123,000
社会貢献委員会支出（市民フォーラム開催費含む）		868,000	745,000	123,000
総務費支出		905,000	1,370,000	△ 465,000
総務委員会費支出	※14	35,000	450,000	△ 415,000
広報委員会費支出		870,000	920,000	△ 50,000

科 目	備考	平成28年度 予算額 (H. 28. 4. 1～ H. 29. 3. 31)	平成27年度 予算額 (H. 27. 4. 1～ H. 28. 3. 31)	差異
学術集会費支出		57,349,000	45,668,020	11,680,980
当年度開催学術集会		55,149,000	42,457,460	12,691,540
会場費支出		37,623,000	18,150,000	19,473,000
会議費支出		2,085,000	1,888,500	196,500
旅費交通費支出		2,300,000	2,350,000	△ 50,000
消耗品費支出		350,000	427,560	△ 77,560
通信運搬費支出(プログラム送料含む)	※15	468,000	1,484,760	△ 1,016,760
印刷製本費支出(プログラム印刷含む)		1,532,000	6,594,840	△ 5,062,840
委託費支出		6,616,000	7,020,000	△ 404,000
人件費支出		674,000	483,000	191,000
謝金支出		891,000	1,470,000	△ 579,000
賃借料支出		250,000	0	250,000
渉外費支出		150,000	50,000	100,000
雑支出		1,130,000	1,538,800	△ 408,800
懇親会運営費支出		1,080,000	1,000,000	80,000
次年度開催学術集会(準備期間)		2,200,000	3,210,560	△ 1,010,560
会場費支出		0	0	0
会議費支出		70,000	70,000	0
旅費交通費支出		500,000	600,000	△ 100,000
消耗品費支出		20,000	100,000	△ 80,000
通信運搬費支出(パンフレット送料含む)		801,000	1,113,560	△ 312,560
印刷製本費支出(パンフレット印刷含む)		609,000	1,077,000	△ 468,000
委託費支出		200,000	0	200,000
人件費支出		0	200,000	△ 200,000
謝金支出		0	0	0
賃借料支出		0	0	0
渉外費支出		0	0	0
雑支出		0	50,000	△ 50,000
②管理費支出		54,789,000	47,820,000	6,969,000
給料手当支出	※16	21,330,000	18,980,000	2,350,000
通勤費支出		1,800,000	2,200,000	△ 400,000
福利厚生費支出		3,150,000	2,415,000	735,000
退職給付支出		300,000	300,000	0
学会総会費	※17 (※14)	500,000	300,000	200,000
社員総会費		3,900,000	3,260,000	640,000
理事会費		2,650,000	2,210,000	440,000
委託費支出	※18	5,260,000	4,910,000	350,000
渉外費支出		30,000	30,000	0
旅費交通費支出	※19	40,000	430,000	△ 390,000
通信運搬費支出	※20	2,130,000	2,390,000	△ 260,000
消耗品費支出	※21	2,320,000	1,200,000	1,120,000
印刷製本費支出		96,000	130,000	△ 34,000
慶弔費支出		50,000	50,000	0
光熱水料費支出		804,000	730,000	74,000
賃借料支出	※22	4,630,000	4,957,000	△ 327,000
保険料支出		85,000	8,000	77,000
諸謝金支出		50,000	50,000	0
租税公課支出	※23	1,072,000	570,000	502,000
負担金支出	※24	150,000	150,000	0
修繕費支出	※25	202,000	50,000	152,000
選挙費用支出	※26	740,000	220,000	520,000
資格喪失者会費支出	※27	2,000,000	1,000,000	1,000,000
雑支出		1,500,000	1,280,000	220,000
事業活動支出合計(I b)		144,532,000	127,127,020	17,404,980
事業活動収支差額(I a)-(I b)		3,032,000	3,945,580	△ 913,580

科 目	備考	平成28年度 予算額 (H. 28. 4. 1~ H. 29. 3. 31)	平成27年度 予算額 (H. 27. 4. 1~ H. 28. 3. 31)	差異
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
①特定資産取崩収入		1,040,000	1,520,000	△ 480,000
選挙積立取崩収入		740,000	220,000	520,000
退職給付引当資産取崩収入		300,000	300,000	0
災害看護支援資産取崩収入	※11	0	1,000,000	△ 1,000,000
②その他投資活動収入		105,000	0	105,000
長期前払費用振替収入(事務所更新料)		105,000	0	105,000
投資活動収入合計(Ⅱa)		1,145,000	1,520,000	△ 375,000
2. 投資活動支出				0
①特定財産取得支出		1,800,000	2,800,000	△ 1,000,000
選挙積立預金支出		1,000,000	1,500,000	△ 500,000
退職給付引当資産取得支出		800,000	800,000	0
災害看護支援資産取得支出	※11	0	500,000	△ 500,000
②固定資産取得支出		105,000	100,000	5,000
什器備品購入支出		105,000	100,000	5,000
③その他投資活動支出		0	105,000	△ 105,000
長期前払費用取得支出(事務所更新料)		0	105,000	△ 105,000
投資活動支出合計(Ⅱb)		1,905,000	3,005,000	△ 1,100,000
投資活動収支差額(Ⅱa)-(Ⅱb)		△ 760,000	△ 1,485,000	725,000
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入合計(Ⅲa)		0	0	0
2. 財務活動支出				
財務活動支出合計(Ⅲb)		0	0	0
財務活動収支差額(Ⅲa)-(Ⅲb)		0	0	0
Ⅳ 予備費支出		3,000,000	3,000,000	0
当期収支差額		△ 728,000	△ 539,420	△ 188,580
前期繰越収支差額		55,606,270	56,145,690	△ 539,420
次期繰越収支差額		54,878,270	55,606,270	△ 728,000

- ※1 平成28年4月1日時点での会員数を8,400名、新入会者・再入会者850名、資格喪失者400名と見積もり、合計請求人数を8,850名として計上。
- ※2 (株)日本看護協会出版会2口、(株)医学書院・(株)南江堂・(株)へるす出版・(有)ヌーヴェルヒロカワ各1口。会費1口50,000円。
- ※3 災害看護支援のための寄付金募集を行わないため。
- ※4 JJNSセミナー受講料(165万円)、JANSセミナー受講料(89万円×1回、178.2万円×1回)で見積っている。
- ※5 JANS36学術集会参加費は据え置く。
- ※6 日本看護科学会誌(電子ジャーナル)の組版、電子ジャーナル対応経費、編集関連経費、学術集会講演集定期購読等販売用印刷製本費。電子化により発送費はなし。2016年より編集委託事業者を変更(中西印刷)し、オンライン投稿・査読システムはScholarOne Manuscriptsを活用。
- ※7 JJNS(Online Journal)の編集費、編集事務費、英文誌編集長謝金(旅費交通費、セミナー謝金を含め年間270万円)。海外からの投稿数増加により編集事務費が増加したが、編集委託事業者とも編集方法を見直し、増加幅を大幅に圧縮できた。
- ※8 JJNSセミナー費用を委員会費から独立させ、別途項目で計上している。
- ※9 情報収集体制整備のための調査(アンケート)を行う。
- ※10 世界看護科学学会 事務局業務を担っている。WANS学術集会の開催年ではないため前年度に比べ減額している。
- ※11 災害看護支援助成事業を行わないため。
- ※12 委員会新設。
- ※13 平成27年度は3回開催の予算立てをしたが、平成28年度は2回開催の予算立てのため経費が減少している。
- ※14 社員総会、理事会の書記アルバイト費用を、管理費の社員総会費、理事会費に計上。
- ※15 JANS36からの申し出により学術集会のプログラムを作成しないため、通信運搬費と印刷製本費が減少している。
- ※16 正職員5名、パート5名(週1~3日勤務)の給与・賞与。正職員の賞与を、現行1か月から2か月に増額すると共に、仕事内容・体制等を検討中。
- ※17 定例理事会6回(5月、6月、9月、10月、12月、2月)、社員総会2回(6月・12月/民間会議場使用)、学会総会1回(12月/学術集会の会場を使用)。社員の増加に伴い経費(交通費・会議費など)が増加している。
- ※18 会員管理システム利用料(197万円)<基本利用料(95万)、コンビニ決済機能(22万)、学術集会参加登録・行事管理機能(66万)、アンケート機能(14万)>、JANSホームページ年間維持更新管理料(67万円)、ホームページ英訳費用(32万円)、Web会議システム(44万円)<Web会議システムを(V-CUBE)に変更>、会計顧問料(76万円)、公認会計士監査報酬(36万円)、顧問弁護士(39万円)、マイナンバー預り・利用記録保存サービス(5万円)、事務所警備委託費(21万円)、封入委託費(9万円)。
- ※19 事務所職員の出張に伴う交通費。東京開催のため前年度より少なくなっている。通勤費は「通勤手当」費目にて別途計上。
- ※20 任期中のため委嘱状送付が減少。
- ※21 会議用椅子の購入・廃棄費用(約100万円)を含む。
- ※22 事務所賃借料、カラー印刷機リース料、紙折り機リース料、レーザープリンタ複合機リース料。前年度予算まで複合機の保守料金が含まれていたが修繕費に修正。事務所の更新が2年毎であるため減少している。
- ※23 収益事業(学会誌販売収入、著作権収入、学術集会に伴う広告販売収入)に関わる法人税および法人事業税は0円、法人住民税約7万円(均等割のみ)。消費税課税売上高(学術集会非会員参加費収入、広告販売収入、学会誌販売収入など)に係る消費税(本則課税方式)。2014年度消費税納税額は93万円。
- ※24 日本看護系学会協議会8万円、看護系学会等社会保険連合(看保連)7万円。
- ※25 前年度予算まで複合機の保守料金が賃借料に入っていたが、修繕費に修正。
- ※26 理事選挙にかかる費用(2年毎)。
- ※27 会費未納による退会者(会員資格喪失者)が増加している(平成24年/96名、25年/164名、27年10月末現在未納者238名)ため、資格喪失者になる前に再請求書の送付とメールによる督促を強化し、資格喪失者を減らす努力を実施中。

平成28年度 収支予算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日

公益社団法人 日本看護科学学会

科目	公益目的事業						収益事業等			法人会計	合計
	学術振興	学会誌	学術集会	市民講座等	共通	計	広告販売	連携事業	計		
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
受取会費											
正会員受取会費					44,250,000	44,250,000				44,250,000	88,500,000
賛助会員受取会費					300,000	300,000					300,000
事業収益											
学会誌収益(講演集含む)		480,000				480,000					480,000
学術集会参加費			41,400,000			41,400,000					41,400,000
広告販売収入							10,358,000		10,358,000		10,358,000
寄付金・助成金			1,000,000			1,000,000					1,000,000
雑収益											
受取利息										4,000	4,000
著作権料										200,000	200,000
懇親会収入										950,000	950,000
セミナー収益	2,722,000	1,600,000				4,322,000					4,322,000
その他の雑収入			50,000			50,000					50,000
経常収益計	2,722,000	2,080,000	42,450,000		44,550,000	91,802,000	10,358,000		10,358,000	45,404,000	147,564,000
① 事業費											
学会誌発行費		19,212,000				19,212,000					19,212,000
受賞論文表彰費		180,000				180,000					180,000
災害看護支援助成金											
会場費	1,000,000	745,000	36,965,609	250,000		38,960,609	657,391		657,391		39,618,000
会議費	168,000	195,000	2,117,345	47,000		2,527,345	37,655		37,655		2,565,000
旅費交通費	2,434,958	1,283,830	2,760,496	731,492		7,210,776	49,253	328	49,581		7,260,357
消耗品費	722,565	262,140	909,976	58,510		1,953,191	25,472	19,007	44,479		1,997,670
通信運搬費	750,264	273,948	1,748,517	146,175		2,918,904	39,623	17,450	57,073		2,975,977
印刷製本費	598,899	179,192	2,126,201	101,180		3,005,472	38,196	786	38,982		3,044,454
委託費	2,859,479	1,073,646	8,054,914	164,639		12,152,678	43,093	43,093	86,186		12,238,864
人件費(学術集会・委員会)	230,000	120,000	674,000	70,000		1,094,000					1,094,000
諸謝金	470,000	710,000	891,000	240,000		2,311,000					2,311,000
雑費	423,425	183,625	1,463,558	48,433		2,119,041	32,034	12,289	44,323		2,163,364
租税公課	101,369	88,040	454,398			643,807	392,220		392,220		1,036,027
通勤手当	448,111	172,350	423,963	22,120		1,066,544	14,747	14,747	29,494		1,096,038
退職給付費用	199,160	76,600	188,428	9,831		474,019	6,554	6,554	13,108		487,127
福利厚生費	784,194	301,613	741,935	38,710		1,866,452	25,806	25,806	51,612		1,918,064
光熱水料費	200,156	76,983	189,370	9,880		476,389	6,587	6,587	13,174		489,563
賃借料	1,152,640	443,323	1,336,159	56,897		2,989,019	42,299	37,931	80,230		3,069,249
修繕費	50,288	19,342	47,578	2,482		119,690	1,655	1,655	3,310		123,000
火災保険料	21,161	8,139	20,020	1,045		50,365	696	696	1,392		51,757
減価償却費					18,920	18,920	262	262	524		19,444
給料手当	5,310,111	2,042,350	5,023,963	262,120		12,638,544	174,747	174,747	349,494		12,988,038

②管理費												
懇親会費											1,080,000	1,080,000
学会総会費											500,000	500,000
社員総会費											3,900,000	3,900,000
理事会費											2,650,000	2,650,000
会場費											20,000	20,000
会議費											53,000	53,000
旅費交通費											620,643	620,643
消耗品費											917,330	917,330
通信運搬費											916,023	916,023
印刷製本費											37,546	37,546
委託費											2,337,136	2,337,136
人件費(委員会)												
諸謝金											250,000	250,000
雑費											586,636	586,636
租税公課											35,973	35,973
通勤手当											703,962	703,962
退職給付費用											312,873	312,873
福利厚生費											1,231,936	1,231,936
光熱水料費											314,437	314,437
賃借料											1,810,751	1,810,751
修繕費											79,000	79,000
火災保険料											33,243	33,243
減価償却費											84,144	84,144
渉外費											180,000	180,000
慶弔費											50,000	50,000
支払負担金											150,000	150,000
支払寄付金												
給料手当											8,341,962	8,341,962
経常費用計	17,924,780	27,647,121	66,137,430	2,260,514	18,920	113,988,765	1,588,290	361,938	1,950,228	27,196,595	143,135,588	
当期経常増減額	-15,202,780	-25,567,121	-23,687,430	-2,260,514	44,531,080	-22,186,765	8,769,710	-361,938	8,407,772	18,207,405	4,428,412	
2. 経常外増減の部												
(1) 経常外収益												
経常外収益計												
(2) 経常外費用												
経常外費用計												
当期経常外増減額												
他会計振替額					8,397,134	8,397,134	-8,397,134	0	-8,397,134			
税引前当期一般正味財産増減額	-15,202,780	-25,567,121	-23,687,430	-2,260,514	52,928,214	-13,789,631	372,576	-361,938	10,638	18,207,405	4,428,412	
法人税、住民税及び事業税							70,000		70,000		70,000	
当期一般正味財産増減額	-15,202,780	-25,567,121	-23,687,430	-2,260,514	52,928,214	-13,789,631	302,576	-361,938	-59,362	18,207,405	4,358,412	

- 注1 従来形式の収支予算書で表示されている各委員会費支出、学術集会費支出は、事業の目的別に区分をし、各費用科目に予算を計上している。
- 注2 従来形式の収支予算書の事業費、管理費は科目ごとに一定の配賦割合（面積割合や従事割合など）に基づき、本収支予算書の事業費、管理費に配賦されている。
- 注3 従来形式の収支予算書に表示されている「退職給付支出」、「資格喪失者会費支出（貸倒損失）」、「投資活動収支」、「予備費」は本予算書には算入しない。
- 注4 従来形式の収支予算書に表示されていない「減価償却費」、「退職給付費用（要積立額）」を本予算書に計上している。

名誉会員について

名誉会員についての定款上の規程

第12条 名誉会員は、看護学の発展に多大の寄与をした者の中から、理事会及び社員総会の承認を得たものとする。

2 名誉会員は、社員総会に出席し意見を述べることができる。

3 第1項の承認について、理事長は、学会総会に報告しなければならない。

第14条 会員は、社員総会で定める会費を納めなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、名誉会員は、会費の納入を要しない。

名誉会員推薦についての理事会申し合わせ事項

1) 「看護学の発展に多大の寄与をした」ことの解釈・・・次のいずれかに該当すること。

① JANSの学術集会会長、国際学術集会会長を務めた。

② JANSの理事長、もしくは理事を通算3期以上務めた。

③ ①、②に相当の働きをしたと理事会が認めた。

④ その他・・・看護学の発展に格段の貢献をしたもの。

2) 本人の同意があること

平成27年6月社員総会で名誉会員に承認された会員 (了承を得て履歴等の情報を記載しております)

	金川 克子 氏
略 歴	掲載省略
会 員 歴	1981年7月25日～2015年3月31日 (通算34年)
学術集会会長歴	第12回日本看護科学学会学術集会会長 (1992年)
役 員	理 事 長 1993年～1995年
代 議 員 歴	理 事 1981年～1983年、1999年～2001年、2002年～2004年
	評 議 員 1981年～1983年、1984年～1986年、1990年～1992年
	1993年～1995年、1999年～2001年、2002年～2004年
	代 議 員 2007年～2011年、2011年～2015年

	川嶋 みどり 氏
略 歴	掲載省略
受 賞 歴	2007年 第41回フローレンスナイチンゲール記章受章 2015年 第1回山上の光賞受賞
会 員 歴	1982年12月3日～現在（通算33年）
学術集会会長歴	第15回日本看護科学学会学術集会会長（1995年）
役 員 代 議 員 歴	理 事 1993年～1995年、1999年～2001年 評 議 員 1990年～1992年、1993年～1995年、1999年～2001年 2002年～2004年

	前原 澄子 氏
略 歴	掲載省略
受 賞 歴	2012 年 瑞宝中綬章受章
会 員 歴	1983 年 3 月 26 日～現在 (通算 32 年)
学術集会会長歴	第 4 回国際看護学術集会会長 (2001 年)
役 員 代 議 員 歴	副理事長 1996 年～1998 年 理 事 1987 年～1989 年、1999 年～2001 年 監 事 2007 年～2011 年 評 議 員 1987 年～1989 年、1990 年～1992 年、1996 年～1998 年 1999 年～2001 年 代 議 員 2007 年～2011 年、2011 年～2015 年

第 38 回日本看護科学学会学術集会会長の選任報告について

- ・ 第 38 回（平成 30 年度）日本看護科学学会学術集会会長

佐伯 由香 （愛媛大学）